

官報

號外

大正二年三月二十一日 金曜日

印 刷 局

○第三十回 帝國議會衆議院議事速記錄第十二號

大正二年三月二十日(木曜日)午後一時七分開議

講事日程 第十三號 大正二年三月二十日

午後一時開議

第一 不動產登記法中改正法律案(政府提出)	第一 読會
第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉	第一 読會
第三 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)	第一 読會
第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉	第一 読會
第五 會計検査院法中改正法律案(政府提出貴)	第一 読會
第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉	第一 読會
第七 會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案(政府提出貴)	第一 読會
第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉	第一 読會
第九 瘡兵院法中改正法律案(政府提出貴)	第一 読會
第十 遺失物法中改正法律案(政府提出貴)	第一 読會
第十一 鐵道抵當法中改正法律案(阿由葉鎌三郎君外一名提出)	第一 読會
第十二 國稅徵收法中改正法律案(根岸曉太郎君外四名提出)	第一 読會
第十三 社寺境内地下戻ニ關スル法律案(福井八郎君外一名提出)	第一 読會
第十四 米及粉移入稅廢止ニ關スル法律案(暢内君外一名提出)	第一 読會
第十五 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏君外一名提出)	第一 読會
第十六 府縣稅及市町村稅制限ニ關スル建議案(石黒磐君外三名提出)	第一 読會
第十七 明治神宮建設ニ關スル建議案(關直彦君外十一名提出)	第一 読會
第十八 明治天皇頌德記念事業ニ關スル建議案(増田義二君提出)	第一 読會
第十九 豫算編成様式改正ニ關スル建議案(柴安新九郎君提出)	第一 読會
第二十 警視廳廢止ニ關スル建議案(村松恒一郎君提出)	第一 読會
第二十一 鐵道建設ニ關スル建議案(米田穂君外三名提出)	第一 読會

第二十二 戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀ニ關スル建議案(日本義顯君提出)

第二十三 烏取智頭間鐵道急設ニ關スル建議案(濱本義顯君提出)

第二十四 北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案(東武君外二十名提出)

第二十五 武相横斷鐵道急設ニ關スル建議案(井上萬太郎君外二名提出)

第二十六 農家ノ副業ニ關スル建議案(井上角五郎君提出)

第二十七 臺灣ニ於ケル棉花栽培獎勵ニ關スル建議案(井上萬太郎君提出)

第二十八 (特別報告第十九號)借地權救濟、請願

第二十九 (特別報告第二十號)平戶區裁判所今福出張所設置、請願

第三十 (特別報告第二十一號)零石村郵便局電信電話架設、請願

第三十一 (特別報告第二十二號)木田村郵便局設置、請願

第三十二 (特別報告第二十三號)國府津沼津間廣軌鐵道改設、請願

第三十三 (特別報告第二十五號)四國幹線鐵道既設線延長、請願

第三十四 (特別報告第二十六號)石狩川右岸鐵道敷設、請願

第三十五 (特別報告第二十七號)辰野驛足助間竝飯田町二切野間鐵道第一期線編入ノ請願

第三十六 (特別報告第二十八號)川邊能代間鐵道敷設速成、請願

第三十七 (特別報告第二十九號)姫路城西ノ丸保存、請願

第三十八 (特別報告第三十號)岩木川改修、請願

第三十九 (特別報告第三十一號)松前鐵道敷設、請願

第四十 (特別報告第三十二號)八雲瀬棚間鐵道敷設速成、請願

第四十一 (特別報告第三十三號)盛岡大館間鐵道敷設速成、請願

第四十二 (特別報告第三十四號)金目村郵便電信局設置、請願

第四十三 (特別報告第三十五號)五千石村三等郵便局設置、請願

三

第十一條第一項第二號中「設定」ヲ「設定及ヒ存續期間、存續期間ノ變更」ニ改メ左ノ一號ヲ加ヘ同條第二項ヲ削ル
四 所有權、質權又ハ百年ヨリ長キ存續期間ノ定アル地上權ノ登記名義人ノ表示ノ變更
第十六條 登記簿ハ其一用紙ヲ登記番號欄、表題部及ヒ甲乙ノ二區ニ分チ尙水表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク登記番號欄ニハ各土地又ハ各建物ニ付キ登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス
表示欄ニハ土地又ハ建物ノ表示ヲ爲シ及ヒ其變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス
乙區事項欄ニハ所有權以外ノ權利ニ關スル事項ヲ記載ス
順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
第十七條 削除
第二十一条第一項ノ二 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者カ不動產ノ目錄ヲ提出シタルトキハ登記所ハ其書面ヲ用ヰテ謄本又ハ抄本ヲ作成スルコトヲ得
第三十二條中「官廳」ヲ「官廳又ハ公署」ニ改ム
第三十三條第二號ニ左ノ一項ヲ加フ
前條第二號ニ掲ケタル事項ハ前項ノ申請書ニハ之ヲ記載スルコトヲ要セ
第五十條ニ左ノ一項ヲ加フ
第四十六條ノ二 債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ債權者及ヒ債務者ノ氏名又ハ名稱、住所所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載シ且代位原因ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス
第五十九條ノ末尾ニ「字又ハ其名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ」ヲ加フ
第六十條ノ二 第四十六條ノ二ノ場合ニ於テ登記ヲ爲スニハ前項ノ規定ニ依ルノ外事項欄ニ債權者ノ氏名又ハ名稱、住所又ハ事務所及ヒ代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス
第六十三條ノ二 前條ノ場合ニ於テ登記ノ錯誤又ハ遺漏カ登記官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ク外登記官吏ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲シ其旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス

市川文藏君	佐藤信古君	若杉喜三郎君	山田禎三郎君	港灣政務統一三關スル建議案
内治郎作君	中君	木下成太郎君	喜三郎君	瀬板倉
福田善三郎君	平出	平岡盛德君	眞館貞造君	福田政壯君
上農村振興ニ關スル建議案	木下	下成太郎君	喜三郎君	瀬田政壯君
陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案	森田俊左久君	福岡甚八君	中川虎之助君	森田俊左久君
木津太郎平君	友枝梅次郎君	石黒鑾君	守屋此助君	木津太郎平君
小寺謙吉君	村田虎次郎君	清水仁三郎君	橋爲之助君	小寺謙吉君
一癡兵院法中改正法律案委員井上敏夫君辭任ニ付其補闕トシテ齊藤珪次君ヲ、府縣制中改正法律案委員小山田信藏君辭任ニ付其補闕トシテ齊藤珪次君ヲ、陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案委員本田恆之君辭任ニ付其補闕トシテ野村嘉吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ	本田恒之君	尾崎元次郎君	井坂光暉君	一癡兵院法中改正法律案委員井上敏夫君辭任ニ付其補闕トシテ齊藤珪次君ヲ、府縣制中改正法律案委員小山田信藏君辭任ニ付其補闕トシテ齊藤珪次君ヲ、陸軍幼年學校廢止ニ關スル建議案委員本田恆之君辭任ニ付其補闕トシテ野村嘉吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ
委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ	渡邊修君	手塚正次君	田中清文君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
遺失物法中改正法律案委員會	渡邊修君	手塚正次君	田中清文君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
委員長	渡邊修君	手塚正次君	田中清文君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
明治四十四年度豫備金支出ノ件外三件委員會	田代進四郎君	理 事	井坂光暉君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
委員長	渡邊修君	手塚正次君	田中清文君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
國有土地森林原野下戻法中改正法律案委員會	委員長 則元由庸君	理 事	石黒鑾君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
鐵道速成ニ關スル建議案外二件委員會	委員長 中倉万次郎君	理 事	清水仁三郎君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
水先法中改正法律案委員會	委員長 野添宗三君	理 事	中川虎之助君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
委員長	信濃川改修工事年限短縮ニ關スル建議案委員會	理 事	高野金重君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
委員長	國防上農村振興ニ關スル建議案委員會	理 事	岡田泰藏君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
○議長(大岡育造君)　是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一及第三ハ關聯シタル議案アリマスカラ、一括シテ議題ト致スニ御異議アリマセヌカ	委員長 三浦盛徳君	理 事	井上敏夫君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
○議長(大岡育造君)　御異議ガナケレバ第一不動産登記法中改正法律案及第三 非訟事件手續法中改正法律案ヲ議題ト致シマス　小山政府委員	中川虎之助君	風間禮助君	高野金重君	委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス以下之ニ倣フ) 第一 不動産登記法中改正法律案(政府提出)	中川虎之助君	中川虎之助君	岡田泰藏君	(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス以下之ニ倣フ) 第一 不動産登記法中改正法律案(政府提出)
不動產登記法中左ノ通改正ス	高野金重君	高野金重君	井上敏夫君	中川虎之助君
(異議ナシト呼フ者アリ)	井上敏夫君	井上敏夫君	岡田泰藏君	(異議ナシト呼フ者アリ)

前條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條ノ三 前二條ノ通知ハ第四十六條ノ二ノ場合ニ於テハ債權者ニ

亦之ヲ爲スコトヲ要ス

第七十九條及第八十九條中「字ヲ削ル

第八十條 前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ増減シタル段別若クハ坪數竝ニ現在ノ段別若クハ坪數又ハ新地目若クハ新番號ヲ記載シ且土地臺帳謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第九十條 刪除

第九十一條第二項ヲ左ノ如ク改ム

建物ノ敷地ノ番號ノ變更アリタルトキ亦同シ

第九十二條中「新地目、新字若クハ」及「又ハ増減シタル段別若クハ坪數竝ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ削ル

第一百條 第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更、建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更又ハ敷地ノ番號ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百條ノ二 行政區畫又ハ字ノ變更ニ伴ヒ土地ノ番號ノ變更アリタルトキハ土地臺帳所管廳ハ遲滯ナク其旨ヲ登記所ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク登記用紙中表示欄ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第一百一條ノ三 既登記ノ土地カ河川ノ敷地ト爲リタル場合ニ於テハ當該官廳ハ遲滯ナク其登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

前項ノ嘱託ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ嘱託スルコトヲ得

第一項ノ嘱託ヲ受ケタル登記所ハ登記用紙中表示欄ニ河川ノ敷地ト爲リタル旨ヲ記載シ土地ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ第一百一條ノ規定ヲ準用ス

第一百三條 土地ノ收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其申請書ニハ補償金ノ受取證又ハ供託受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ必要アルトキハ起業者ハ登記名義人又ハ相續人ニ代ハリ土地ノ表示若クハ登記名義人ノ表示ノ變更又ハ相續ニ因ル所有權移轉ノ登記ヲ申請スルコトヲ得

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滯ナク前二項ノ登記ヲ登記所ニ嘱託スルコトヲ要ス

第一百三條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ「第一百三條ノ二」「第一百三條ノ三」ニ改ム

第一百三條ノ二 第四十六條ノ二、第五十條第三項、第六十條ノ二及ヒ第六十

三條ノ三ノ規定ハ第一百三條ノ二第一項及ヒ前條第二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百三條ノ二 前條ノ場合ニ於テ不動產カ五箇以上ナルトキハ申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ目錄ニハ各不動產ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ申請人之署名捺印スルコトヲ要ス

第一百二十二條ノ三 一箇又ハ數箇ノ不動產ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ債權ニ付キ他ノ一箇又ハ數箇ノ不動產ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質

權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ前

ノ登記ヲ表示スルニ足ルヘキ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百二十四條ノ二 申請書ニ共同擔保目錄ヲ添附シタル場合ニ於テ其一箇ノ不動產ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動產ノ登記用紙中相

當區事項欄ニ共同擔保目錄ニ掲ケタル他ノ不動產ニ關スル權利ト共ニ擔

保ノ目的タル旨ヲ記載スルヲ以テ足ル

第一百二十四條ノ三 共同擔保目錄ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第一百二十四條ノ四 第百二十二條ノ三ノ規定ニ依ル登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ其登記及ヒ前ノ登記ニ各不動產ニ關スル權利カ共ニ擔保ノ目的タルコトヲ記載スルコトヲ要ス

第一百二十四條及ヒ第一百二十四條ノ二ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一百二十六條第一項ヲ左ノ如ク改ム

數箇ノ不動產ニ關スル權利カ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其一箇ノ不動產ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵

當權ノ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ他ノ不動產ニ關スル權利ニ付キ第二十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記ニ其旨ヲ附記シ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス其一箇ノ不動產ニ關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

第一百二十六條ノ二 前條第一項ノ規定ニ從ヒテ爲スヘキ登記ハ共同擔保目錄アル場合ニ於テハ其目錄ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一百二十七條ノ二 第百三條及ヒ第一百三條ノ二ノ規定ハ土地ニ關スル所有

權以外ノ權利ノ收用ニ因ル權利移轉ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百四十九條ノ二 登記官吏ハ登記ヲ完了シタル後其登記カ第四十九條第一號又ハ第二號ニ該當スルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登記權利者、登記義務者及ヒ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者ニ對シ一ヶ月ヲ超エサル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第一百四十九條ノ三 異議ノ申立アリタルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ商業登記ニ付キ定メタル公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スルコトヲ要ス

登記官吏ハ前項ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第一百四十九條ノ四 前條第二項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定

決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

ダルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第一百四十九條ノ五 異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シ

附則

第一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 第二條 本法施行前ニ登記所ノ受附タル事件ハ從前ノ規定ニ依リ完結ス
 第三條 本法施行前ニ調製シタル登記簿ハ當分ノ内之ヲ使用スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ關スル從前ノ規定ハ仍ホ其效力ヲ有ス
 第四條 本法ニ依ル登記簿ニ始メテ登記ヲ爲ス場合ニ於ケル登記番號ハ從來ノ番號ヲ追ヒテ之ヲ記載スルコトヲ要ス
 第五條 從前ノ規定ニ依ル登記用紙中表題部又ハ或區カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ本法ニ依ル登記簿ニ繼續用紙ヲ設クルコトヲ要ス
 前項ノ場合ニ於テ乙區事項欄ニ登記ヲ爲ストキハ新ナル順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス
 第六條 所有權以外ノ權利ニ關スル登記ノ前後ハ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタルモノト本法ニ依ル登記簿ニ繼續用紙ヲ設クルコトヲ要ス
 附番號ニ依ル
 第七條 從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ爲シタル所有權以外ノ權利ニ關スル登記ニ付キ本法ニ依ル登記簿ニ附記登記ヲ爲ス場合ニ於テハ主登記ヲ爲シタル區ノ名稱ヲ記載スルコトヲ要ス
 第八條 從前ノ規定ニ依ル登記簿ヨリ本法ニ依ル登記簿ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ又ハ轉寫スルトキハ受附番號ノ順序ヲ追ヒテ新ナル順位番號ヲ記載シ其左側ニ從前ノ規定ニ依ル登記簿ニ於ケル區ノ名稱及ヒ順位番號ヲ記載スルコトヲ要ス
 第九條 不動產登記法施行前ニ登記シタル不動產ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合ニ於テ本法ニ依ル登記簿ニ登記ヲ爲ストキハ第百六十三條ノ規定ヲ準用ス
 第十條 明治三十九年法律第五十五號ハ之ヲ廢止ス

第三 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出)

第一 読會

非訟事件手續法中左ノ通改正ス
 第百二十五條中「第百五十一条ノ五」ヲ「第百五十一条ノ六」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ
 第百六十五條ノ規定ハ夫婦財產契約ノ登記ノ更正ニ之ヲ準用ス
 第百五十一條ノ六 登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス
 前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲スヘシ

第百五十七條中「及ヒ第二十四條」ヲ「第二十四條及ヒ第五十九條」ニ改ム
 第百六十五條 登記所カ第百五十一条ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(政府委員小山溫君登壇)

(五)

○政府委員(小山溫君) 不動產登記簿ノ記載ヲ簡單ニ致シマス、殊ニ多數ノ不動產ヲ同時ニ登記致シマスル場合ニ於テノ手續ヲ簡單ニ致シマス、其他事務ヲ簡單ニ致シマスル目的テ不動產登記簿ノ改正ヲ加ヘ、尙ソレニ關聯スルコトデゴザイマスルが、非訴事件手續法中ノヤハリ登記ニ關シマシテ簡易ナル手續ヲ設クル爲ニ、此兩案ヲ提出致シマシタ、宜シク御協賛アラムコトヲ望ミマス
 ○工藤善太郎君 チヨット承リマス、此改正ハ要スルニ事務ノ簡捷ヲ計ルト云フヤウニ書イテアリマスガ、能ク通覽シマスルト云フト、要點が唯僅ナ改正ニ——僅ナ事ダラウト思ハレル、其要點上云フモノハ從來登記官吏ガ自分ニ間違ヘタモノニ拘ラズ、登記申請者ノ申請ヲ要スル誤謬ヲ訂正シタモノヲ、今度官ハ自ラ間違タモノヲ自ラ訂正スルト、是ダケニ止マッタモノダラウト思ハレマス、ソレデハ未ダ事務ノ簡捷ヲ計ルト云フ主義ハ徹底シマイト思ヒマス、要スルニ外國ノ例ヲ以テ見マスルト云フト、一ノ用紙ヲ登記所ノ入口ニ下ダテ置イテ、ソレヘ記入シテ要求スルコトガ出來ルヤウナ簡便法ハナノデスカスト云フコトガ、第一ノ質問デス、其次ハ制度整理稅法整理ノ上カラシテ、大ニソレヲ改正スルノ意思アリヤ否ヤ、ソレヲ承リタイ、其譯ハ所謂農事政策ノ上カラ見ルト云フト、殆ド地主ガ大シタ租稅ヲ負擔スル上ニ於テ、農業ノ資本ヲ調達スルノ餘リ質入書入等ノ必要ガアル、此場合ニ於テ何程ノ金ヲ費ヤサレルカト云フト、殆ド明治三十八年頃ハ七百万圓ノ登錄稅ヲ拂ツテ居リマス、段々ニ今日ニ至リテ遂ニ一千二百萬圓ト云フ大層ナ登錄稅ヲ拂ツテ居リマス、之ヲ要スルニ地主ガ土地改良且肥料購入等ノタメニ要スル資本ニアツテ、地主ノ掌中ニモ這入ラズ、或ハ資本家ノ手ニモ這入ラズ、要スルニ政府ノ歲入ニナツテ居ルト云フヤウナ傾ガアル、此等ハナカノ將來農業政策ノ上カラ見テ、大ニ改良スルノ必要ガアルダラウト思フ、チヨット今ソレニ付テ一例ヲ舉ゲテ見レバ、殆ド明治四十年當リニ於テ、自作農民ハ百二十割三分ノ計數ノアルモノガ、明治四十三年ニ於テ二割七分ト云フヤウナコトニ減少シテ居ル、是レ即ち地主ノ租稅ヲ多く拂ツテ居ルトコロカラシテ、農民ノ疲弊テ居ルトコロノ證據アラウト思フ、此點カラ見ルト云フト、大ニ此稅法ノ方法ヲ改正シテ、サウシテ其地主ノ負擔ヲ輕クスルト云フヤウナコトハ、最モ農業政策ノ上カラ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、チヨット其邊ニ政府ノ御考ガアルヤ否ヤチヨット伺ヒマス

○政府委員(小山溫君) 登錄稅法ニ付キマシテハ私ヨリ御答辯ノ限リテハアリマセヌガ、登記法ニ付テダケ御答辯ヲ致シマス、不動產登記法ノ改正ハ、成程唯今御尋ニナリマシタヤウナ登記ノ過誤がアリマシタ時分ノ更正ニ付テノ規定モゴザイマスルが、ソレハ主モナル點アハゴザイマセヌデ、第一登記簿ノ用紙ノ欄ニ付テ改正ヲ加ヘマシテ、徒ラニ登記簿ニ白紙ヲ存スル——白紙ガアリナガラ此區劃ガ都合ガ悪ルイガタメニ、又他ノ紙ガ要ルト云フヤウナコトヲ廢シマスルノガ一ツ、ソレカラ裏キニ申シマシタ多數ノ不動產ヲ登記スルニ付キマシテ、手續ヲ簡便ニスルト申シマシタガ、御承知ノ通り唯今ハ例ヘ八十筆ノ土地ヲ抵當登記ヲ致シマスルトシマスルト、其一筆ニ各他ノ九筆ノコトヲ記入セネバナラス、ソレアリマスカラ十筆ノ土地ヲ抵當トスル抵當登記ニハ、百筆ノ土地ヲ書カナクチヤナラス、サウ云フ風ニ各、自選數ノ登記ヲ爲サベナラヌヲ、今般ハ改正ヲ致シマシテ目録ヲ拵ヘマシテ、各其目録ニ參照スルコトニ改正ヲ致シマス譯テゴザイマスルカラ、官吏ノ過誤ニ屬スルモノハ、自ラ改メルト云フ規定ヲヤハリ非訟事件ノ登記ニ付テ

モ同ジコトガゴザイマスカラ、ソレテ非訟事件手續法ノ其部分ヲ改正致シマス、ソレテゴザイマスカラ、唯今仰セニナリマシタノハ大方非訟事件ノ方アリマセウト思ヒマスガ、非訟事件手續法ノ方アリマシタノハ、ソレダケアリマスガ、ソレハ不動産登記法中改正シタ澤山ノ中ノ或ル事項タケガ非訟事件ニ關聯シマスカラ、サウ云フコトニナリマシタノアリマス

○高木益太郎君 政府ニ對シテ御尋ラシタノアリマスガ、唯今ノ此非訟事件手續法ノ第百五十一條ノ上ヲ見ルト云フト「登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遅滞ナク登記ヲ爲シタル者ニ其目ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏ガ登記所ノ過誤ニ出タルトキハ此限ニアラス」トアル官吏ノ失錯デ以テ錯誤又ハ遺漏ノアッタトキハ、訂正ラシナクテモ宜イト云フヤウチ規定が、百五十一條ノ六ニ規定シテアリマス、所ガ一方ノ又不動産豆記法ノ六十三條ノ一ヲ見ルト前條ノ場合

ニ於テ登記ノ錯誤又ハ遺漏ガ登記官吏ノ過誤ニ出テタルトキハ登記上利害ノ關係ヲ有スル第二者アル場合ヲ除ク外、登記官吏ハ遅滞ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲シ其目ヲ登記権利者及ヒ登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス」ト云フコトガアル、同シク出サレタコロノ條文デ、此不動産豆記ノ方ハ登記権利者及ヒ登記義務者が登記ニ何カ過誤ノアッタ時、例ヘベ一千圓トアルノヲ一万圓ト書損ガアッタ場合ハ、是ハ利害關係ヲ有スル第二者ニモ影響ヲ及ボシ、登記事務者ニモ影響ヲ及スコトデアリ、一方ハ必ず通知シナケバナラヌ、片方ノ非訟事件ハ商業登記トカ、會社登記トカ第三署ニ其影響スルコトガ多大デアル、ソレガ登記官吏ガ其科目ヲ勝手ニ直スコトが出来テ、其直シタ結果ヲ通知シナクテモ宜イト云フコトハ何故デアルカ、其點ヲ明細ニ御答ヲ願セタイ、ソレカラ次ニ司法政府委員ニ警告シテ置キタインハ、コンナ簡単ナ「事務ノ簡捷ヲ圖ル爲登記ノ手續ニ關スル規定ヲ改正スルノ必要アリ」と云フ理由テハ分ラヌ、無論登記ハ専門學者ガアル位デアリマス、故ニ斯ウ云フコトニシタノヲ、今度斯ウ云フ工合ニ改正ヲ圖ルト云フ親切ニ提案ノ理由ヲ書カヌト、理由書ダケフ見タノデハ分ラヌ、唯事務ノ簡捷ヲ圖ルト云ジテモドノ點ガドナルノカ分ラヌ、他ノ省ハ提案ノ理由ヲ詳シク書イテ居ルノニ司法省ハ此點ニ於テ一般ニ不親切デアル、此點ハ將來斯ウ云フ事ノナイヤウニ警告致シテ置キマス

(政府委員法學博士齋藤十一郎君登壇)

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマス、第一ノ御尋ハ條文ノ形ノ上カラ見マスト、誠ニ御尤モノ御話アリマスガ、併ナガラ此不動産ノ登記ト會社ノ登記トハ登記ノ性質ニ於キマシテ多少異シテ居リマス、而シテ會社登記ニ付キマシテハ總テノ登記ガ官報又ハ新聞紙ア公告致シマス、不動産登記ノ方ハ公告ハ致シマセヌノアリマス、而シテ商業登記ノ中テモ不動産ノ如ク財產其モノニ關シマスル登記ニ付キマシテハ、本案ニ於キマシテモ通知ヲ致ス規定ニ致シテアリマス、即チ千百一十五條ノ第一項ニアリマスガ、夫婦財產契約ノ登記、ソレカラ百六十五條ノ規定ニアリマス、商業ニ關スル登記、此場合ハ是等ノ財產ヲ保護シマスルコトガ、不動産ヲ保護スル同様ナモノト認メマスカラ、此場合ニハ通知ヲ致ス規定ニナツテ居リマス、其他ノ會社ノ登記ノ更正ハ是ハ通知ヲ致シマセヌ、性質が違ヒマスカラ、而シテ新聞官報等ニ公告ガ出來マスカラ通知ヲ致サナイ主義ニ致シタノアリマス、ソレカラ第一ノ御問ニアリマスガ、高木君ハ司法省ノ提案理由書が甚ダ簡單アツテ提案ノ主旨ニ副ヘナイカノ如ク仰セラレマスケレモ、是ハ政府ノ提案ノ理由書ハ總テ此ノ如クアルコトハ御覽ニナレバ直グ分リマス(高木益太郎君「御改メナサイ」と呼フ)ソレテ若シ委員會ニ御付託ニナツタ場合ニハ、其特別委員ノ諸君ニ差上ゲマスヤウニ思ヒマシテ、參考書ハ出來テアリマス

カラ、此點ダケヲ御答致シマス

○高木益太郎君 議會ハ特別委員ノ議會デナインアリマス、一般ノ議員諸君ニモ提案ノ主旨ノ分ルダケノ事ヲ爲サルヤウニ願ヒタイ、ソレテナケレバ参考書ヲ一般ノ議員ニモ配ラナケレバナラヌ、此事ヲ尙司法省ノ政府委員ニ注意シテ置キマス

○議長(大岡育造君)

日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

○右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○松田源治君 本案ハ兩案トモ關聯セル議案ナルニヨリ、一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガレバ一案ヲ一括シテ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマス、第五會計検査院法中改正法律案及第七會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案ヲ議題ニ供シマス

第五(會計検査院法中改正法律案(政府提出、貴族院 第一讀會 送付))

會計検査院法中改正法律案

會計検査院法中左ノ通改正ス

第一條中「三員」ヲ「一員」ニ、「十一員」ヲ「八員」ニ、「十八員」ヲ「十六員」ニ改ム

第五條中「三部」ヲ「二部」ニ改ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七(會計検査官及行政裁判所高等官休職ニ關スル 第一讀會 法律案(政府提出、貴族院送付))

會計検査官及行政裁判所高等官ノ休職ニ關スル法律案

第一條(會計検査院法中改正法律ノ施行ニ際シ會計検査官五人ヲ限リ之ニ休職ヲ命スルコトヲ得)

第二條(本法ノ施行ニ際シ行政裁判所高等官八人ヲ限リ之ニ休職ヲ命スルコトヲ得)

第三條(前二條ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレタル者ニハ現俸三分ノ一ヲ支給ス但シ在職二十五年以上ノ者ニハ一分ノ一迄ヲ支給スルコトヲ得)

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
(政府委員法學博士岡野敬次郎君登壇)

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 唯今議題ニナリマシタノノ法律案ニ付キマシテ、頗ラ逐次提案ノ理由ヲ簡單ニ説明致シタノ存シマス、會計検査院改正法律案ハ目的トスル所ハ此案ニ示シテアリマスル如ク、會計検査院ノ減員ヲ行フニ在ルノ

デアリマス、諸君モ御承知ノ如ク會計検査院ハ現行法ノ下ニ於キマシテハニ一部カラ成ツテ居リマス、而シテ其部ハ各一人ノ部長ト検査官四人ヲ以テ組織セラレテ居マシテ、ソレヲ各官廳會計ノ検査ノ事務ヲ分掌致シテ居ルノデアリマス、然ルニ多年ノ實驗ニ徵シマスルニ、一方ニ於テハ各官廳ノ會計事務モ漸次整頓ヲ告ゲテ參リマスルシ、又他ノ一方ニ於キマシテハ此會計検査ニ從事スル所ノ會計検査官モ追乞ト其事務ニ熟練ヲ致シテ參リマスル、殊ニ會計事務ニ付キマシテハ、成ベク繁文辭禮ヲ去シテ事務簡捷ノ實ヲ舉ゲルコトヲ期シテ居ルノデアリマス、此度行政財政ノ整理ヲ實行スルニ當リマシテ、本案ノ如ク會計検査官ノ減員ヲ行ヒマシテモ、検査監督ノ周到ヲ缺クノ點ハナイト信ジテ居ルノデアリマス、依テ會計検査院ノ組織ヲ更メマシテ、今日二部ニナッテ居ルモノヲ一部致シマシテ、之三件ヲ部長一人會計検査官四人、副検査官一人ヲ減ズルト云フコトニ致シタノデアリマス、本案提出ノ理由由簡單ニ申上ゲレバ則チソコニアルノデアリマス、次ニ休職ニ關スル法律案ノコトデアリマスカ、唯今會計検査院法中改正法律案ニ付テ述ベマシタ如ク、此法律ノ實行ニ伴ヒマシテ會計検査官ニ五人ノ過剰員ヲ生ズルコトニナルノデアリマス、行政裁判所ニ付キマシテハ、此定員ハ法律ニ行政裁判所ニ定シテ居ルノデアリマセズノデ、法律ガ之ヲ勅令ニ定ムルコトニ規定シテゴザイマス、其勅令ノ定ムル所ニ依レバ、行政裁判所ニ於キマシテハ長官ノ他評定官十七人此他ニ臨時ニ増置セラレタル定評官が一人アルノデアリマス、合計評定官ハ十九人が即チ現行勅令ノ定員ニアリマス、行政裁判所評定官ヲ增員致シマシタルノハ、明治四十年ト四十三年ノ一回アリマス、明治四十三年ノ増員ハ下戻法ニ依リマストコロノ訴訟事務ノ爲メアリマス、四十二年ノ増員ハ秩祿處分ノタメアリマス、詰ルトヨロ下戻法ニ依ルトヨロノ行政訴訟ハ、今日ニ於キマシテハ大半既ニ結了ヲ致シマシテ、未済ノ事件ハ其數百一二充タナイノデアリマス、又家祿事件ニ關スル行政訴訟ハ、今日ニ於キマシテハ未了ノ事件ハ少ナイトハ申サレヌノデアリマス、併ナガラ關係法律ノ解釋モ追々定シテ參リマスレバ、同一ノ趣旨ニ依シテ判決スルニ至リマシタナラバ、其數ノ割合ニハ早ク事務ガ運ブコトニナルコトハ疑ナインデアリマス、因テ此一回ノ増員ヲ行ヒマシテ以前ノ計上ノ定員ニ復舊ヲ致シマシテ、行政裁判所ノ事務ノ上ニ何等差支ナイト信ズルノデアリマス、ソレデ此度勅令ノ改正ヲ行ヒマシテ、行政裁判所ニ於テモ減員ヲ致シタノデアリマス、右ノ如ク會計検査官ニ付キマシテ五人、行政裁判所ニ付キマシテ八人、減員ヲ行ヒマス必要ガアルノデアリマス、ケレドモ是ハ御承知ノ如ク法律上ノ保障ノアル特殊ノ官吏ガアリマスカラ、茲ニ法律ヲ以テ休職ノ制度ヲ立テマシテ、且相當ノ保護ヲ與ヘルト云フコトヲ適當ナリト信ズルノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本案ヲ提出致シマシタ次第アリマスカラ、宜シク御審議ノ上ニ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○政府委員(法學博士岡野敬次郎君) 唯今ノ高木君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、第一ノ御質問ニ付キマシテハ先刻提案ノ理由トシテ述ベマシタル如ク、檢査監督ノ事務ニ於テ縱合減員ヲ行ヒマシテモ、周到ヲ缺クノ虞レガナイト信ジマシテ本案ヲ提出致シタ次第アリマス、第一ノ御質問ニ對シマシテハ、是ハ政府ガ即チ此改正法律案ヲ提出致シタ譯アリマス、内閣ヨリ提出致シタ譯アリマス、其内向キニ付キマシテハ固ヨリ會計検査院ノ方ト合議ヲ盡シマシテ、會計検査院ニ於テモ斯ノ如キ減員ヲ行フテモ事務上差支ガナイト云フノ確信ヲ以テ、即チ此案ノ成立ヲ告ゲタ譯アリマス、第三ノ御質問ニ付キマシテハ私ヨリ御答スベキ事柄アリカ知リマセヌガ、大正二年一度ノ豫算ハ杜撰ニアラズト云フコトヲ私ハ一言御答ヲ致シタノデアリマス○議長(大岡育造君) 日程第六第八、右議案ノ審査ヲ付託スペキ委員ノ選舉ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(大岡育造君) 第八右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○松田源治君 兩案共一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ガナイヤウテアリマスカラ、右様ニ決シマス、日程第九、廢兵院法中改正法律案第一付託セラレシコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 第八右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移
(「賛成イヤト呼フ者アリ」)
○議長(大岡育造君) 兩案共一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ガナイヤウテアリマスカラ、右様ニ決シマス、日程第九、廢兵院法中改正法律案第一付託セラレシコトヲ望ミマス

第九 滅兵院法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(報告)

○高木正年君 (尾崎元次郎君登壇) 會計検査院法中改正法律案ハ、一見致シマスト極メテ簡單ナヤウデアリマスガ、歲計ノ監督上頗ル重要ナル案件デアルト私ハ考ヘマス、此處ニ於テ極ク簡單デアリマスカラニ箇條ノ質問ヲ致シタトイ思ヒマス、第一ハ年來決算ノ審査ニ關シテ本員ノ目撃スルトヨロニ依リマスト、年々歳々違反事件ヲ多く出シテ居ルヤウニ考ヘマス、カラ、茲ニ法律ヲ以テ休職ノ制度ヲ立テマシテ、且相當ノ保護ヲ與ヘルト云フコトヲ適當ナリト信ズルノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ本案ヲ提出致シマシタ次第アリマスカラ、宜シク御審議ノ上ニ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○尾崎元次郎君 (尾崎元次郎君登壇) 會計検査院法中改正法律案ハ、一見致シマスト極メテ簡單ナヤウデアリマスガ、歲計ノ監督上頗ル重要ナル案件デアルト私ハ考ヘマス、此處ニ於テ極ク簡単デアリマスカラニ箇條ノ質問ヲ致シタトイ思ヒマス、第一ハ年來決算ノ審査ニ關シテ本員ノ目撃スルトヨロニ依リマスト、年々歳々違反事件ヲ多く出シテ居ルヤウニ考ヘマス、カラ、茲ニ法律ヲ以テ休職ノ制度ヲ立テマシテ、且相當ノ保護ヲ與ヘルト云フコトヲ適當ナリト信ズルノデアリマスカラ、宜シク御審議ノ上ニ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○尾崎元次郎君 (尾崎元次郎君登壇) 委員長が差支ガアリマスカラ、私ヨリ委員會ノ經過ヲ報告致シマス、廢兵院ノ改正法律案ハ委員會ニ於キマシテ、陸軍省ノ政府委員及鐵道院ノ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ、慎重ニ審議ヲ盡シマシタ結果、適當ト認メマシテ満場一致ヲ得テ、來年ノ議會ニ於テ政府ニ於テ軍人恩給法ノ一部ノ増加恩給ヲ改正サレテ、一層廢兵三對を優遇ノ實ヲ現ハサレシコトノ希望ヲ、委員會トシテ述ベテ置キマシタ次第アリマス、ソレカラ此事ニ付キマシテハ義三本院ニ於キマシテ政府ニ建議ヲ致シマシタコトハ、第一ニハ廢兵ニ對シテ特別ナル記章ヲ制定シテ貰ヒタイト云フコト、ソレカラ此恩給ノ改正ヲシテ貰ヒタイト云フコト、尙鐵道ニ於テ廢兵ニ對シテ、現在ノ取扱デナク、尙

一層進ンダル取扱シテ貴ヒタイト云フ建議ヲシテアリマスルノデス、ツマリ其事ノ第一ノ徽章ノコトハ一二三日前ニ官報ニ發表サレマスル、恩給ノ一部ノ改正ノコトハ、此案ニ依テ稍吾ニガ満足ラスルコトが出來マスル、鐵道院ノコトニ關シマシテハ、委員會ニ於キマシテ總裁ニモ出席ヲ求メテ、親シク總裁ニ委員會ノ意見ノアル所ヲ開陳シテ、現在ノ如ク形式ニ流レナイ程度ニ於テ、尙十分優遇ノ意ヲ盡サレンコトヲ希望致シテ置キマシテ、總裁モ此委員會ノ希望ヲ容レラレマシテ、近キ將來ニ於テ其實ヲ舉ゲラル、コト、存ジテ居リマス、ソレカラ最後ニ皆様ニ御通知申シマスルコトハ、今日ノ公報ニ出アリマスカラ、ドウガ御都合ノ付キマス諸君ハ、成ベク多數廢兵院ノ視察ニ參リマスル積リデルコトヲ希望致シマス、是ダケラ御報告致シマス。

○相島勘次郎君 私ハ委員長ノ報告ニ賛成デアリマスガ、此廢兵院ニ收容スルタメニ、其家族が恩給ヲ停止サレテ、ソレガタメニ非常ニ難儀フルト云フコトハ、當時内務省アタリニモ議論が非常ニアタコトデ、民間デモ其事ハ非常ニ論ジテアリマスケレドモ、頑冥ナル陸軍省ハ是ニ聽クコトナクシテ、今日マデ斯ウ云フ規則ヲ維持シテ來タノデアリマスガ、其間ニ於テ廢兵トシテハ優遇サレタケレドモ、多クノ家族が恩給ヲ受ケナカタト云フ責任ハ、確ニ陸軍省ニアルノデアルト云フコトヲ、私ハ茲ニ明言シテ賛成ノ意ヲ表シダイト思ヒマス。

○松田源治君 本案ハ直チニ一讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定サレンコトヲ望ミマス。

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
(「贊成々々」ト呼起ル)

第十 遺失物法中改正法律案(政府提出)
〔田代近四郎君登壇〕

第二讀會(確定議)
〔田代近四郎君登壇〕

第一讀會ノ續(委員長)
〔田代近四郎君登壇〕

第一讀會(確定議)
〔田

ルト云フノガ本案ノ主眼ゴザイマス、ソレデ若シ地租ノ徵收ニ付テハ、他ノ國稅ヨリモ手數ガ掛ラヌトカ費用ガ少ナイトカ云フコトナルバ、現行ノ徵收法モ一理アルコトデゴザイマスケレドモ、其實際ハ徵收上ノ費用ヤ手數ハ、他ノ國稅ヨリモ地租ノ方ガ非常ニ多ク掛ルト云フコトハ、既ニ前議會ニ於テ二三回論議セラレタル通リテゴザイマス、ソレ故ニ却テ地租ニ對シテ割合ヲ多ク費用ヲ交付スルコツ相當ニアラウト思フ位ニアリマス、然ルニ是ガ非常ニ少ナイ手數料デアルト云フコトハ、是モ不當アルカラシテ、當然是ハ引上ゲナケレバナラヌト云フコトハ、何人モ異議ナキトコロデアラウト信ジマス、サウシテ此現行法ガドウシテ斯ウ云フ不公平ノ法律ニナシテ居ルカト申シマスナラバ、第一回七議會マニテニ於テハ地租ニ對シテハ徵收ノ手數料ハ更ニ交付ガナカッタノテアリマス、第二十七議會ニ於テ本員等ヨリ是ガ改正案ヲ提出致シマシテ、其不公平不相當ナルコトヲ唱道致シマシテ、政府ト折衝シタ結果、政府ニ於テモ同意ヲ表サレタノアリマス、併ナガラ其當時國庫ニ餘裕ガナイト云フコトロカラ、已ムヲ得ズ漸ク都合シテ地租ニ對シテ千分ノ七ヲ交付スルト云フコトニシタノアリマス、甚ダ少額ニアリマシタケレドモ、免ニ角公平ノ方向ニ向シテ歩ミ出スト云フコトデアルカラシテ、國庫ノ餘裕ノ出來タ時分ニ更ニ相當ノ改正ラヌルト云フ意思ヲ以テ此現行法ニ改正シタノアリマス、ソレ故ニ今日制度整理ヲ大ニ行ハントスルニ際シマシテハ、當然他ト同様ニ引直スト云フコトヲ爲サケレバナラヌト云フコトハ、申スマデモナイコトダラウト思ヒマス、殊ニ政府ハ減稅的稅制整理ヲ爲サントシテ諸種ノ減稅案ヲ提出セラレテアリマスケレドモ、此減稅案タルヤ商工業者ニ厚キノ感ナキ能ハズアリマスカラ、是レ此國稅徵收法ヲ改正致シマシテ、地租ニ對シモ百分ノ四ノ手數料ヲ交付スルコトニ致シマスレバ、比較的農業者側ガ多額ヲ占ム地租ニ對シ、減稅ト同様ノ效果ヲ生ズルノアリマスカラ、一方ニ於テハ此不公平ヲ改正シ、一方ニ於テハ商工業者ト農業者トノ減稅上ノ權衡ヲ得セシムルト云フコトニナルノアリマシテ、一舉兩得ノ案デアルト思ヒマスカラ、滿場諸君ノ御贊成ヲ願ヒマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○松田源治君 本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ハナイト認メマス、依テ本案ハ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルト云フコトニ決シマス——日程第十三、社寺境内地下戻ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續フ開キマス

第十三 社寺境内地下戻ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)

○松田源治君 本案ハ延期セラレコトヲ希望致シマス
○議長(大岡育造君) 本案延期ノ動議ガアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ延期スルコトニ決シマス、——日程第十四、米及移入稅廢止ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續フ開キマス、委員長友常穀三郎君

第十四 米及移入稅廢止ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(委員長)

○友常穀三郎君 本案ハ本月十日迄ニ昨十九
(友常穀三郎君登壇)
○友常穀三郎君外一名提出

日ノ一回ニ亘リマシテ委員會ヲ開キマシテ、遂ニ全會一致ヲ以テ可決致シタ次第ゴザイマス、茲ニ特ニ御報告申上ゲタイノハ、本案ノ法文ニ於キマシテ朝鮮ヨリ移入スル米及移入稅ヲ廢止アリマスガ、是ハ提出者ニ於キマシテ修正ヲ致シマシタ、即チ朝鮮產出ノ米及移入稅ヲ課セズト云フコトニ修正ヲ致シマシタ、此修正案ニ依テ討議ヲ盡シマシタルトコロ、全會一致ヲ以テ此修正案ニ可決致シタ次第ゴザイマス、本案ノ精神ハ朝鮮ノ產業即チ朝鮮產業ノ發達ヲ圖リ、特ニ農業ヲ助長スル意味ニ於キマシテ、政府ニ於テハ之ニ同意ヲ表シ全會一致ヲ以テ此案ヲ可決致シマシタ次第ゴザイマス、此項ノ一ノ問題トナシテ居リマストコロノ米價調節等ノ件ニ關シテハ、餘リ重キヲ置イテ居ナイト云フコトモ意味シテ居リマス、サウシテ尙一言申上ゲマスノハ、此法文ノ精神ハ苟モ日本帝國ノ領土六單リ此母國ノミナラズ、臺灣トカ或ハ樺太等三移入スルトコロノ朝鮮產出ノ米ハ、ヤハリ無稅ト云フコトニ解釋シテ居リマスカラ、此事ハ特ニ御報告申上ゲテ置キマス、然レドモ此實施期限ニ付キマシテハ、本案ハ本年七月一日トゴザイマスガ、政府當局者ニ於キマシテハ財政上ノ都合ニ依テ大正二年四月一日カラ實施シタイト云フコトヲ主張シテ居リマスガ、併ナガラ全會一致ヲ以テ修正通り可決致シマシタ、何卒諸君ノ御贊同ヲ願ヒマス(「贊成々々ノ聲起ル」)

(政府委員野中清君登壇)
○政府委員(野中清君) 政府ハ本案ニ就キマシテハ、其朝鮮產ノ米及移入稅ヲ廢スルト云フ事柄ニ就キマシテハ御同意ヲ表シテ居ルノアリマス、但シ唯今委員長カラ御報告ニナリマシタヤウニ、其實施ハ大正二年ニ入ッテ之ヲ施行スル、斯ウ云フコトノ下ニ於テ御同意ヲ表シテ居ルノアリマス、本年ノ七月一日カラ施行スルト云フコトニ付キマシテハ、大正二年ノ財政計畫上ニ影響ヲ及ボシマスノテ、其點ニ付テハ反對ヲ致シテ居リマス(「反對ガアツテモ構ハヌ」ト呼フ者アリ)

○松田源治君 本案ハ直チニ一讀會ヲ開キ、二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス(「贊成々々ノ聲起ル」)

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ對シテ反對ガゴザイマセヌヤウデアリマス、依ッテ本案ハ直ニ一讀會ヲ開キニ二讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定シタルコトヲ宣告致シマス——日程第十五、國有土地森林原野下戻法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長則元由庸君

第十五 國有土地森林原野下戻法中改正法律案(岡田泰藏君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○則元由庸君 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ現行法ノ第一條ノ第一項ノ次ニ「前項ノ土地森林原野ニ於テ生産物ヲ採收シタル者ハ所有ノ事實アリタルモノト見做ス但其他ニ所有者アリト認ムヘキ證據アルモノハ此ノ限ニ在ラス」是ケケノ條項ヲ加ルト云フ修正案アリマス、而シテ此修正ヲ爲ス理由ハ、元來土地ノ上ニ於テ自由ニ生産物ヲ採收致シテ來タル者、即チ土地ノ上ニ權利ヲ行ヒ來テアル此事實ト云フモノハ、所有ノ事實アルモノト普通ニ見做スノカ相當アル、然ルニ從來ノ農商務省ノ處分及び行政裁判所ノ判例ガ之ニ反シテ居ルカラ、斯ノ如キ修正ヲ要スルト云フノガ提出者ノ本案ニ對スル理由デアリマス、委員會ニ於キマシテハ段々質問應答ヲ經マシタ末ニ、此案ヲ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、但シ政府ハ之ニ反對ヲサレタノゴザイマス、昨年モ本院ニ於キマシテ此案ニ付キマシテハ、一名ノ反對者ナク滿場一致ヲ以テ可決確

定サレテ居リマスル案アゴザイマスルカラ、本年モ願クハ同様ニ可決セラレンコトヲ希望致レマス

○政府委員(橋本圭三郎君) 議長……

○議長(大岡育造君) 橋本政府委員

(政府委員橋本圭三郎君登壇)

○政府委員(橋本圭三郎君) 唯今議題ニナシテ居リマス法律改正ニ付テハ、唯今委員長カラシテ御報告ノ如ク委員會ニ於テ政府ヨリ詳細之ニ反対ノ意見ヲ述べテ置キマシタガ、今日ニ於テモ反対アリマス、其詳細ノ理由ハ時間モナイコトデアリマスカラ、申上ゲマセス

○岡田泰藏君 本案ハ第一讀會ヲ開カレマシテ、第二讀會ヲ省略シテ可決確定アラ

(「贊成々々」「反対々々」ノ聲起ル)

○議長(大岡育造君) チヨット明瞭ヲ缺イタヤウデアリマスガ、モウ一度願ヒタイ

○岡田泰藏君 一讀會ヲ開カレマシテ、二讀會ヲ省略シテ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 本案ヲ一讀會ヲ開イテニ二讀會ヲ省略シテ可決確定ト云フ動議ガアリマス

(「異議ガアリマス」「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 岡田君ノ動議ニ御贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、本案ノ一讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ決ヲ採リマス、本案ノ一讀會ヲ開クベシト云フニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

起立者 少數

○議長(大岡育造君) 少數デアリマス、依ッテ本案ハ一讀會ヲ開クベカラズト決シマシテ

(「贊成々々」「反対々々」ノ聲起ル)

ドウ云フ事情ニナシテ居ルカト云フト、此題號ヲ申シマスルト、是ハ府縣稅及市町村稅、ソレカラ水利組合費マテ入レルノダケレドモ、之ヲ略シマシテ「府縣稅及市町村稅」ト致シマシタガ、御承知ノ如ク國稅ニ對シテハ相當ニ地租ニ對シテハ幾ラ、地價ニ對シテハ幾ラ、營業稅ニ對シテハ幾ラ、或ハ所得稅ニ對シテハ幾ラト云フコトガ、國稅ニハ必ず法律ガアツテ規定ガゴザイマス、又之ト引續イテ此國稅ニ對スル附加稅ニ至リマシテハ各、制限ガゴザリマスルガ、或ハ地租一圓ニ對シテドレダケヲ取ル、營業稅ニ對シテ幾ラ、所得稅ニ對シテ幾ラ取ル、斯ウ云フ制限ガ附加稅ニゴザリマスルガ、此府縣稅即チ府縣ノ直接國稅ト云ヘバ、即チ地租割トカ、戸數割、營業稅、雜種稅等、總テ是ハ即チ府縣ノ直接國稅トナシテ居リマスルガ、此府縣ノ直接國稅ニ制限ガ無イノゴザイマス、府縣ノ直接國稅ト云ヘバ、即チ地租割トカ、戸數割、營業稅、雜種稅等、總テ是ハ即チ府縣ノ直接國稅トナシテ居リマスルガ、此府縣ノ直接國稅ニ制限ガ無イガタメニ各府縣ニ於テ各個ニ課目ダケハ内務省ヘ居ケマスケレドモガ、總テ議案ノ決議シタノモ送リマス——送リマスか即チ制限ガゴザイマセヌカラ、或縣ニ於テハ即チ澤山ノ稅ヲ課ケマスルシ、或縣ニ於テハ少ナイ所モアリマス、ソコテ府縣ノ此稅ノ課ケ方ト云フモノガ、府縣ノ殆ド隨意ニナシテ居ル、ソニテチヨット一例ヲ舉ケテ申シマスルト、詳シイコトハ申シマセヌ、委員會デ申スコトニシテ置キマスガ、東京ガ一戸當リ幾ラ負擔シテ居ルカト云ヒマスト、東京ハ僅ニ六圓幾ラアル、然ルニ愛知縣杯ヘ行キマスト七十五圓餘負擔シテ居ル、斯ウ云フコトデス、戸數割デ云ヘバ——其通りニエライ差ガアル、是ハ大阪ハ大阪、京都ハ京都トシテ見ルト、京都ガ一番比較上高イヤウデス、ソレカラソノ例ヲ舉ケレバ市ト云フモノ、上ニ於キマシテモ、唯東京市ニ在シテハ即チ一戸ノ平均ガ十圓幾ラト云フモノデアル、京都ハ十八圓、大阪ハ十二圓トカ、或ハ愛知縣杯ヘ行キハ十五圓餘負擔シテ居ル、斯ウ云フコトニナシテ種々様々ニナシテ居ルカラ、之ニ制限ヲ設ケマセスト知ラズ識ラズノ間ニ稅が高マツテ往クト云フコトハ自然ノ勢デゴザイマス、此府縣稅ニ制限ガ無イ、無イ府縣稅ニ向テ市町村稅ガ又之ニ附加スル場合ニ制限ガ無イ、カラ國稅ノ本稅竝ニ附加稅ニハ制限ガアルガ、府縣稅ノ本稅竝ニ府縣稅ニ附加スル所ノ附加稅ニ向シテハ即チ無制限デアル、其結果ガ斯ウ云フ事情ニナシテ居リマス、是ハ總テ京大阪カラ其他ヲ調ベテ置キマシタ、唯一ツ此處デ一例ヲ申上ダテ置キタイノハ、先づ名古屋デ一ツ言シテ見マスト、國稅ノ方ニ於キマシテ千圓未満ノ請負金額ニ向シテ國稅ハ七圓デアル、之ニ對シテ縣ノ附加稅ハ七十七圓、名古屋市ガ之ヲ二圓十三錢課シテ居ル、合セテ九圓九十錢デアリマス、然ルニ一方ノ縣稅ノ方ニ別ニ八圓ト云フモノヲ課シ、名古屋市ガ之ニ向シテ八圓八十錢ヲ課シ、十六圓八十錢片方ガ、サウスルト九圓九十錢デアルモニ、無制限ナルガ故ニ十六圓八十錢モ課ケルト云フコトニナル、シマスルト國稅ト縣稅ノ附加稅市稅ノ附加稅ヲ合セタ額ヨリモ、コチラ、方テ縣稅ト市稅ヲ合シタモノガ上ニナル、斯ウ云フ不權衡ヲナシテ居リマス、一方ニ於テハサウ云フ方ハ公民權ヲ國稅ノ方ハ有シテ居リマス、然ルニ一方ノ府縣稅ト市町村稅ヲ課セラレタ方デハ公民權ガナインデアル、サウシテ訴ヘコトヲ知ラナイ人間デアル、斯ウ云フ人間ニ向シテ非常ナル國稅以下、例テ言ハ千圓ノ國稅ヲ納メル者ガ九百圓ニナシテ、其九百圓ノ人ガ却テ千圓ノ人ヨリ餘計稅ヲ拂シテ居ルト云フコトハ、愛知縣ニ限リマセヌ、各府縣ノ間ニ澤山實例ガアリマス、ソコテ其結果ハ單ニ餘計取ルバカリデハナイ、ソコテ納稅者ニ於キマシテハ、斯ウ云フ事情デアルカラ、ソレヲ知ルト云フト九百五十圓ノ人が千圓ト云フコトニ嘘ヲ言シテ居スルサウシテ千圓ヲ拂フト云フト公民權ガアル、即チ選舉ノトキニ候補者ガ來テ頭ヲ下ゲル斯ウ云フ有様アゴザイマスカラ、少シ氣ノ利イタ者ハ九百五十圓ノモト千圓ト居出ル、斯ウ云フコトニナル、サウシマスト不徳ナルコトヲ法律ヲ以テ強要スル、無理ニサウ云フコトヲサセセル傾ヲ持テ來テ居ル、是が非常ナル弊害ニアラウ思ヒ

マス、置ニ増スバカリデハゴザイマセヌ、ソコテ政府ノ當局者ニ私ハ注文ヲ致スノアル、是

ハ内務省ノ人モ此事ヲ知ラナイノデアル、私が内務省ヘ調べニ行シテモサウ云フコトハ知

ラナカッタ云フ、併シ此頃大藏大臣テナイ次官テモナイ主税局長ノ菅原某君ヘ、營業

稅ノトキノ説明ニ曰ク、營業稅ノ最低額ヲ今少シ引上ゲモ宜シ、宜シイガ地方ニ餘

計取ラレルカモ知レナイ、サウスルト國稅ヨリ、ヨリ以上餘計取ラレルカモ知レナイト云フ

コトヲ、知リナガラ大藏省モ知ラヌ顏フシテ居ル、内務省ハ此事ヲ知ラナカッタ云フニ

至シテハ——ソコテ非常ナル結果ヲ來スカラ、内務省ニ迫レバ、内務省ハ財政ト行政トノ

地方ノ整理ヲシタ上テ致ス氣ダ、斯ウ云フ答アアル、サウ云フ日ヲ待テ居ルト恐ラクハ

今日ノ役人ノ遣方テハ五年十年經テモ出來ナ、是ハ早く處分シナイト非常ナル害ヲ

受クルコトダラウト思ヒマス、ソコテ無暗ニ中央政府ノ節減ノミデハナ、地方ニ於テモソ

レ^く節減ノ法ヲ立テ、相當ナル所ノ制裁ヲ茲ニ加ヘル法案ヲ設ケナクテハ、地方ハ遂

ニ其弊ニ堪ヘヌト云フコトニナリハセヌカ、斯ウ云フコトガ本案ヲ提出シテ建議スル趣意デ

ゴザイマス、宜シク御贊同ヲ願ヒマス

○松田源治君

本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君）松田君ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（大岡育造君）御異議無シト認メマス、仍テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマシタ、日程第十七、明治神宮建設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ

明 第十八 明治天皇頌德記念事業ニ關スル建議案（増田義一君提出）

明治天皇頌德記念事業ニ關スル建議案

ニ依テ人民ノ權利財産ハ保障セラマシタ、又條約改正セラレテ國權が伸張セラレタ、又兵制改革ニ依テ國民皆兵主義ガ斷行サレタノアリマス、或ハ教育ノ普及ト云ヒ、學術ノ進歩ト云ヒ產業ノ發達ト云ヒ、一々數ヘ來リマスレバ、逆モ數ヘ切レヌコトデゴザイマスル、實ニ四十有五年ト云ヘバ僅カ半世紀ニモ満チマセヌ、其短イ歲月ノ間に於テ外ニハ國威ガ伸張シ國權が張リ、内ニハ文物ノ進歩シ典章ガ整備シ實ニ面目一新シタル上ニ世界一等國ノ列ニ入ッタト云フコトハ更ニ々々偉大ナル事實デゴザリマス、殊ニ畏多クモ、明治天皇御一生ノ間ヲ窺ヒ奉リマスレバ、常ニ國ヲ思ヒ民ヲ思ハセ給ヒテ、而モ平素御儉徳ニ涉ラセラレ、御努力ノ點ハ御生涯一貫シテ居ル、何レノ點ニ就キマシテモ吾ニ國民ノ模範デゴザイマス、斯ル偉績鴻業ハ實ニ歴史アツテ以來世界ノ誇ト爲スニ足ルコト、思ヒマス、此事ハ一二明治天皇不世出ノ大人格、蹟祚ノ初ニ於テ千艱萬難ヲ排シテ國家ヲ富嶽ノ安ニ置カント御決心爲シ給フ所ノ維新ノ大精神ノ實現ニ外ナラスト存ジマス、我が日本帝國民ハ此先帝ノ御精神ヲ千万年ノ後マテモ奉戴シテ、無限ノ向上發展ヲ圖ラネバナラスト思ヒマス、即チ頌德記念事業ノ一日モ忽ニスルコトノ出來ナイ所以テゴザイマス、冀クハ政府ハ成ベク速ニ成案ヲ具シテ議會へ提出セラレ、而シテ此御聖德ヲ永久ニ記念スル所ノ事業ヲ完成セラレンコトヲ切ニ希望スルノデゴザイマス、冀クハ滿場諸君御賛成アランコトヲ希望シマス（拍手起ル）

○議長(大岡育造君) 松田君、動議ニ御異議ハナイト認メマス、依テ本案ハ前ノ日程、明治神宮建設ニ關スル建議案ヲ付託シタル委員ニ付託致シマス、日程第十九、豫算編成様式改正ニ關スル建議案、提出者紫安新九郎君

第十九 豊安新九郎君提出
豫算編成様式改正ニ關スル建議案(紫安新九郎君提出)
豫算編成様式改正ニ關スル建議案

豫算編成ノ様式複雑多端ナルヲ以テ一見明瞭ナラズ
又豫算ト決算ト齟齬スルコト多クシテ財政ノ常軌ヲ脱スルノ弊アリ仍テ編成ノ様式
ヲ改正シ國民ヲシテ其ノ大體ニ通シ易カラシメ國運ノ發展ニ副ハムコトヲ望ム
右建議ス

〔紫安新九郎君登壇〕
〔拍手起ル〕

○紫安新九郎君　本案提出ノ理由ヲ申上グマス、本案ハ別ニ本員ノ氣付キマンタル案アモゴザイマセヌ、此事へ財政ニ心ヲ寄セテ居リマスル所ノ人達ノ多年唱ヘテ居リマシタ問題デゴザイマス、本員ノ如キモ亦其必要ヲ感ジテ居リマス　一人ニ過ギナイノデゴザイマス、專制政治ノ時代ニ於キマシテハ、由ラシムベシ知ラシム可ラズト云フノロ以テ政治ノ祕訣ト致シテ居リマシタ、此時代ニ於テハ財政ノ事アルトカ或ハ豫算ノ事ナドハ、成ベク人民ニ知ラセナインヲ以テ善トシテ居タノデゴザイマス、併ナガラ立憲政治ノ今日ニ於キマシテハ一厘一毫ト雖モ國民ノ知ラザル支出ハナインニアリマス、故ニ國家ノ財政又ハ豫算ニ關スルコトナドハ、成ベク之ヲ國民ノ間ニ知リ易カラシメルノガ私ハ本體アラウト考ヘルノアリマス、國民ガ財政ノ状態ナリ又豫算ニ現ハレテアリマスル點ヲ十分納得致シマシタラバ、少々重キ負擔ヲ課シマシテ私ハ之ニ應ズルアラウト思ヒマスルシ、又國家ノ財政状態が十分ニ解ラナケレバ、如何ニ財政ノ革新ヲ圖リ租稅ノ減少ヲ圖リマシテモ、國民ハ満足シナイモノアラウト思フノアリマス、此我國ノ豫算が複雜多端ニシテ容易ニ分リ惡イト云フコトニ付キマシテハ、諸君ニ於カセラレテモ御異論

ノナイコトデアラウト信ズルノアリマス、此事ニ付キマシテ第十四議會第十五議會ニ
キマシテモ、斯ウ云フ建議案モ現ハレテ居ルノアリマス、「國家」ノ歳計豫算ハ費途ヲ明
確ニシ併セテ基金流用ノ緊縮ヲ期スルニ在リ然ルニ從來ノ豫算中陸海軍軍事費及裁
判所費ノ三款ハ他ノ各款ニ比シ其區域廣潤ニ過キ從テ豫算案及決算ノ調査ニ際シ
不便尠ナカラサルノミナラス流用ノ度過大ニ失スルノ弊ヲ免レス云々、斯ウ云フ建議案
モ現ハレテ居ルノアリマス、國家ノ豫算ハ民間ノ會社銀行ノ財產狀態ト固ヨリ異ナッ
テ居リマスカラシテ、之ヲ民間ノ會社銀行ノ計算ト同様ナ方式ニスルト云フコトハ勿論
望ムベカラザルコトデアリマスガ、今日民間ノ會社銀行ニ於ケル財產狀態ノ計上ノ有様
ヲ見マスルト、貸方ニ借方、此ニシテ分ケテ居ル、此貸方ト借方ト二ツニ別ケテ
居リマスカラシテ、一万圓ノ會社モ千万圓ノ會社モ、其會社ノ財產狀態ヲ見ルニ於キ
マシテハ誠ニ一目瞭然ニアリマス、何トナレバ數字ニ現ハレテ居ルトコロハ、百圓ノ金モ一
億圓ノ金モ別段違ハナイノアリマス、單ニ其數が増シテ居ルト云フニ過ギヌノアリマス
カラシテ、借方ノ方ヲ見シトシマスレバ「一千万圓ノ會社ノ狀態モ、其借方ノ一桁ノ中ニ
舉シテ居ル、其一桁ノ中ニ舉シテ居リマストコロノ内譯ヲ見マスレバ、借方ナラバ借方ノ
方ハ明白ニ分ル、又貸方ノ方ニ於キマシテモ是ト同一ノ狀態ニ誠ニ明白ニ分ル、其明
白ニ分ル程度ト云フモノハ、一万圓ノ會社ノ財產狀態モ、一千万圓ノ會社ノ財產
狀態モ同一テゴザイマス、此民間ノ會社銀行ノ財產狀態ハ一目瞭然ニ分リマスカラ
シテ、大藏省ナドニ於テ銀行ノ調査ヲ行ヒマスルトキニモ一目瞭然ニ分ルノアリマス、
所が國家ノ豫算ヲ見マスルトナカク、一目瞭然ドコロノ話デハナイ、百目デモナカク
瞭然トハ參ラナイノアリマス、今後國費ハ益々多端ニナリマスルト共ニ、之ニ對シマスル
法律規則ナドモ益々多クナシテ參リマスルト、今日ノ複雜セル豫算ノ様式ハ益々複雜多
端ニナルダラウト考ヘマス、此豫算ノ様式が複雜多端トナリマスル結果、時トシテハ豫算
ト決算ト齟齬スルヤウナ場合モ往々シテゴザイマス、又今日ノ豫算ノ様式ト云フモノ
ハ、明治二十一年ヨリ施行サレテ居リマスル所ノ會計法及閣令大藏省令ニ基イテ、二
十五年ノ間同一ノ形式ニ依シテ行ハレテ居ルノアリマスガ、今日ニ於テハ大ニ改正スル
點ヲ見出スコトが出來ルノアリマス、何トナレバ今日ノ豫算ノ様式ハ特別會計ニ於キマシ
テモ五十種ニ上ツテ居リマス、是等モ何トカ私ハ改正ヲスルコトが出來得ラレルダラウト思
フ、何トナレバ同一事項ノモノヲ一つノ所ニ集中スルト云フコトモ出來ルデアラウト思ヒマ
シ、又特別會計ニ計上シテ居ル所ヲ一般會計ニ編入スルコトモ、私ハ出來得ラレルモ
ノガ隨分アルダラウト思ヒマス、ソレカラ又同一ノ事項ハ同一ノ事項ニ集中スルト云フコ
トノ必要ガアリマス、何トナレバ建設費デアルトカ、修繕費デアルトカ、或ハ休職給デアル
トカ、斯ウ云フ各款ニ亘ツテ居リマスルモノヲ、一つノ所ニ集中スルト云フコトモ私ハ必要
デアラウト思フノアリマス、要スルニ國ノ財政狀態ヲ明白ニ致シマシテ、此財政狀態ヲ
國民ノ間ニ容易ニ知リ易カラシメ、國民ガ國家ノ財政ヲ見ル事尙自分ノ懷ヲ見ルが如
クニ痛切ニ感シマシテ、此財政ニ興味ヲ持タシメ趣味ヲ深カフシメルト云フコトハ、私ハ
立憲政體ノ世ノ中ニ於テ最モ必要ノコトデアルト信ズルノアリマス、故ニ私ハ政府ハ之
ニ對シマシテ十分ニ研究モシ審査モ致シマシテ、適當ナル改正ノ方法ヲ施サンコトヲ切ニ
希望スル次第ゴザイマス

第二十　警視廳廢止ニ關スル建議案(村松恆一郎君外二名提出)

警視廳廢止ニ關スル建議案
警視廳廢止ニ關スル建議

〔村松恆一郎君登壇〕

○村松恆一郎君 諸君、本員ノ提出致シマシタ建議ハ、警視廳ヲ廢シテ其事務ヲ東京府ニ移スベシト云フノデアリマス、此警視廳廢止ノ事ハ必ズシモ今日ニ始シタコトデハナイノデアリマシテ、既往十數年來民間ニ於テハ殆ド輿論トナシテ居ル事柄デアルノデアリマシテ、特ニ明治三十九年第二十二議會ノ時ニ於キマシテ、東京市市參事會、東京市長トシテ尾崎君ヨリ警視廳廢止ニ關スル請願ヲ提出セラレタ、其源ハ何デアルカト申シマスレバ、其當時此警視廳ノ弊害ヲ認メマシテ、東京府會ヲ初トシテ東京市會及東京各區會テ悉ク警視廳ノ廢止ヲ決議ヲ致シマシテ、特ニ尾崎市長ハ東京市會ヲ代表シテ警視廳廢止ノ請願ヲ提出セラレタノデアリマシテ、ソレガタニ「請願委員會ニ於テハ特ニ警保局長及内務大臣等ノ出席ヲ求メテ、大ニ政府ノ意嚮ヲ質シ意見ヲ戰ハシタコトハ當時ノ速記録ニ遺シテ居ルノデアリマス、此顛末ヲ述ベテ置キマスルコトハ、此本案ノ精神ヲ有力ニ致シマスル上、竝ニ私ノ辯論ヲ助ケル上ニ非常ニ便益ト思ヒマスカラ搔摘シテ申シマスガ、此當時警視廳ノ廢止ニ反對スル政府ノ意見ト云フモノハ、唯此東京ハ他ノ府縣ト異シテ居ル、帝都ノ下ニアルトコロノモノデアル、從シテ警察事務ガ多イノデアル、同時ニ高等警察ニ關スル事柄ガ多イノデアル、故ニ他ノ府縣ト同様其府ナリ縣ナリト云フ中ニ警察部ヲ置クト云フ譯ニハ行カヌ、ドウシテモ特別ノ官衙ヲ要スルト云フコトガ第一ノ趣旨ニアツテ、之ニ對シテ委員ノ側カラ若シ警視廳ヲ廢止スレバ如何ナル弊害ガアルカト云フコトノ質問ニ對シテ、内務大臣警保局長ハ當時何等ノ答モセラレナカッタ、唯警視廳ハ帝都ノ下ニ於テ必要デアル、若シソレニ付テ何等カノ弊害アルト云フサラバ、其弊害ヲ改メサヘスレバ宜イテハナイカト云フコトデ、其結果請リ政友會ノ諸君ハ皆此意見ヲ採ラレタノデアリマスカラ、請願委員會ニ於テハ此請願ノ趣旨ハ警視廳ヲ廢止スルト云フノデアルニモ拘ラズ、唯將來警視廳ノ制度其他ヲ改良スルト云フコトノ提出セラレタノデアリマシテ、當時非常ニ盛ナル討論ヲ關ハセラタ結果、是亦ハリ同請條件ノ下ニ之ヲ可決ヲ致シタノデアリマス、併ナガラ是ハ請願者ノ趣旨ニ反シテ居ルノデアリマシテ、請願者ノ趣旨ハ改良トカ改正トカ云フコトデナイ、警視廳ヲ廢シヤウト云フノデアル、是ニ於テ更ニ本會ニ向シテ江間俊一君ヨリ警視廳廢止ニ鬪スル建議案ヲ提出セラレタノデアリマシテ、當時非常ニ盛ナル討論ヲ關ハセラタ結果、是亦ハリ同請願委員會ト同一ノ意味ニ於テ、請リ改正スレバ宜イテハナイカト云フコトノ條件ノ下ニ、是ハ否決ヲセラレタノデアリマス、先ツ既往ニ於ケル經過ハ此通りデアル、然ラバ此警視廳ガ其以後ニ於テ果シテ如何ナル改良ヲ行シタノデアルカ、如何ナル改正ヲ致シタノデアリタルカト云フコトヲ、既往此七八年間ノ事實ヲ見マスルト云フト、少シモ改良シタル迹ハナイト私ハ思フ、若シ多少改メタル廉ガアルトシマシタナラバ、曾ア警視廳ハ拘摸ト結托合ノ打切シタコトハ褒メルコトハアルマイト思フ、ソレカラ制度ノ上ニ就テドウ云フ事ヲ摸ト提挈ヲ斷絶シ、博徒ト情意投合ヲ斷絶シタト云フ有様デアル、今日ハ妥協ノ本家タル桂公サヘモ妥協ヲ打切り情意投合ヲ打切シテ居ル、僅ニ拘摸ヤ博徒ト情意投合ノ打切シタコトハ褒メルコトハアルマイト思フ、ソレカラ制度ノ上ニ就テドウ云フ事ヲ致シタカト云フト、近來刑事犯人ニ對シテ指紋法ヲ用ヰテ居ル、是ハ多少效果ガアルト云フ話デアル、組織ノ上ニト云フコトヲシタカト云フト、以前ハ市郡ヲ通ジテ僅ニ二十

一箇所カ一箇所ノ警察デアッタノが、今日ハ市郡ヲ通シテ八十三箇所ト云フ警察署ヲ設ケテ居ル、是ガ改正ダト稱スル、同時ニ以前派出所制度ニアッタノヲ交番制度ニ改メタ、其結果ハドウアルカト云ヘバ徒ニ機關ヲ多クシテ、殆ド從來ノ二倍以上ニ機關ヲ殖ヤシタノアルカラ、詰リ非戰鬪員が多クナル、機關ノ幹部ニ屬スル所ノ者ガ多クナルカラ、戰鬪員が少クナル譯デ、斯ノ如クナツタ爲ニ寧ロ事務カ複雜ニナル、從テ警察ノ實際ノ效果ガ舉ラナイ、又彼ノ交番制度ト云フモノハ派出所制度ト違テ、何時モアスコニ立ツテ居ツテ休息ヲスル時間ガナイ、休息ヲスル時ハ態々本署ニ歸ラケレバナラヌカラ、巡回ト云フコトハ少シモシナイノアル、是ダケ警察ト云フモノハ寧ロ退歩ヲシタノアル、取締リガ是ダケ不行居ニナツテ居ルノアル、是ガ何デ改良デアル、何デ改正デアル、勿論此事ニ付テハ當局者カラ言ヘバ、此故ニ近日更ニ制度改正ヲスルト言ハレルカモ知ラヌ、開ク所ニヨレバ既ニ其内議モアルト云フ話デアル、是ハ私ガ新聞紙ヲ通シテ推測スルトコロニ依ルト、近來ノ八十二箇所ノ警察ヲ半數位ニ減シテ、サウシテ派出所制度ヲ恢復シテ多クヲ派出所制度トル、ソレニ交番制度ヲ混ゼル、詰リ以前ノ折衷案ヲ作ルト云フコトデアルガ、是亦少シモ改良デハナイ、以前ノ改惡ノ詎リ塗リ消シヤツテ居ルノアル、以前ノ失敗ヲ恢復センガ爲メニ斯ウ云フ事ヲヤルノハ少シモ進歩デナイ、改良デハナインデアル、其外ニ七八年間ニ於テ警察ガドシナ改良ヲシタノアル、外間ニハ少シモ吾晋ニハ見エナインデアル、近來ノ新聞ニハ警視廳デハ巡查ニ「オイコラ」ト言ハセルコトヲ止メタト言ツテ、二號活字デ特筆大書シテ居ルノアルガ、今日ノ時代ニ於テ巡查ガ「オイコラ」ヲ止メタト云フコトヲ鬼ノ首ヲ取ツタ如クニ警視廳ガ誇ル程進歩ニ遡レテ居ル警視廳デアルト私ハ思フ、ソレデ實際ノ下級警察ノ有様ヲ見マスルト少シク—少シクデハナイ、甚ダ私ハ還惑ナ點が多く、今日警視廳ヲ廢止シナケレバナラムト云フ理由ニ付キマシテハ、既ニ此前ノ建議案ノ時ニ於テモ四ツノ理由カラ此建議案ガ出テ居ルノデアリマシテ、第一ハ時勢ノ進歩ニ伴ハナイト云フコト、ソレカラ第一ニハ權力濫用ノ弊ガアル、斯ノ如ク高等官ヲ澤山使ツテ居ル所ハナイト思フノアル、其位地ト云フモノハ殆ド東京府ノ上ニ居ルノアル、殆ドハナイ、實際ガ斯ノ如クテ其仕事ハドウデアル、一部ノ權力ヲ濫用スルト云フノハ自然ノ結果デアルノアル、御承知ノ如ク今日ノ警視廳ハ勅任ノ警視總監ヲ置イテ、其下ニハ五十人カラノ奏任官ガ置イテアル、何レノ府縣ヲ見セモスガ、今日ノ如ク警視廳ヲ獨立ノ官衙トシテ置ケバ、勢ヒ其組織が龐大ニナル、從ツテ第三ニハ事務ノ統一ヲ缺ク、第四ニハ獨立官衙トシテ置クノ必要ガナイト云フノガ、是ガ前回ノ建議案ノ趣意デアッ丁度今回ノ私ノ建議ノ趣意モヤハリ之ニ基グノデアリマシテ、今日マテ警視廳ガ何等改正セラレタコトモナインハ、唯今申上ゲタ如クデアリマスガ、今日ノ如ク警視廳ヲ獨立ノ官衙トシテ置ケバ、勢ヒ其組織が龐大ニナル、從ツテ高等警察ニ關スルコトハ警休局ノ官制ニ立派ニアルノアル、警休局ガ之ヲヤルノデアル、ソレデ其他ノ下級警察ノコトニ就テ別ニ獨立ノ官衙ヲ置カズトモ他ノ府縣ノ如ク東京府デヤツテ少シモ差支ナインデアル、然ルニモ拘ラズ茲ニ獨立ノ官衙ヲ置イタノハ何ガ爲デアルカト言ヘバ、先づ歴史カラ考ヘナケレバナラヌ、此警視廳ト申シマスルモノハ御承知ノ如ク、維新後ノ際軍事警察ノ目的カラ置カレタモノノアル、當時市中ニ於テ非常ニ暗殺が流行ルトカ、或ハ亂暴者押込トカ、強盜が徘徊スルトカ、或ハ新政府ニ向ツテ不軌ヲ謀ルトカ云フ者ガアル爲ニ、所謂一種ノ軍事警察今日ノ憲兵ノ如キ職務ノ下ニ組織セラレタモノノアル、故ニ其當時ハ屯所ト稱シテ居ツタ、然ルニ後ニ至リマシテ一變シテ閥族擁護ノ機関トナツタノアル、警視廳ハ其所謂警察力ニ依ツテ閥族ニ反對スルモノヲ片端カラ之ヲ羅織シテ、サウシテ之ヲ牢ニ打込ミ或ハ罪ニ落スト云フヤウナコトヲヤツテ、殆ド明治十二三年以來ノ警視廳ト云フモノハ、唯此ノ閥族ノ擁護ト云フコトヨリ

外、眼中ニ無カツタカモ知ラスト思フ、此警視總監ト云フモノハ何デアルカト言ヘバ、言フマデモナク日明シ岡引ノ御頭ニ過ギナインデアル、然ルニ是が内閣ノ更迭毎ニ内閣大臣ト共ニ進退スルナド、云フコトハ既ニ間違ニ居ル、又是が警視廳ト云フモノガ獨立ノ官衙デアル爲ニ、政治警察ニ重キヲ置ク證據テアル、既ニ政治警察ニ重キヲ置クガ故ニ下級警察ノ方ニ自然疎カニナル、而モ少シク事アレバ直グニ權力ヲ濫用シテ人民ヲ虐ゲル、彼ノ明治二十八年ノ日比谷事件ノ如キ、諸君が十分之ヲ經驗シタノデアリマシテ、警視廳が人民ヲ激シテ茲ニ至ラシメタノデアル、近クハ一月十日ノ騒擾ガ何デアルカ、其事ノ起リハ衆議院ノ前テ諸君が御承知ノ通り、俄ノ騎馬巡查が何等騒擾ヲシナ、何等暴行ヲ爲サルトコロノ群衆ニ向テ馬ヲ乗入レテ多數ノ負傷者ヲ出シタト云フコトガ、導火線ト相成テ遠ニ彼ノ如キ大騒擾ヲ惹起シタ、是等が皆獨立官衙ノ爲ニ自カラ權力濫用ノ弊ニ陥シテ、人民ヲ何トモ思ハナイ、警視廳ハ云フモノノ政治警察が本趣意アルカノ如ク誤解シテ斯ヤウナコトヲ惹起シタノデアル、或人ハ彼ノ二月十日ノ騒擾ヲ以テ憲政擁護會ノ使嗾デアル、憲政擁護會ノ煽動アルト云フコトヲ言フノデアルガ、決シテサウテナイ、此騒擾ヲ惹起シタモノハ警視廳アル、此前ノ二十八年ノ暴徒ノ騒擾モヤハリ其過アル、計リ餘ニ警察官ノ權力濫用ニ過ケル結果ト云フモノガ斯ヤウナコトニ相成ルノデアル、此警視廳ノ組織ヲ小サクシテサウシテ東京府ニ移スコトニアルガ、ドウデアルカト云ヘバ、自ラ人民ニ對スル事モ親切ニナッテ來ル、今日警視廳が何が故ニ權力濫用ノ弊ニ陥リ易イカト申シマスレバ、獨立ノ官衙アダテ東京府知事ノ上ニ居ル位ノ地位ニ居シテ、其下ニ多數ノ高等官ガアッテ多數ノ巡査ガアルカタメニ、自ラ人民ニセ不親切ニナリ權力濫用ノ弊ニモ陥リ易イノデアル、而シテ實際ノ事實ニ於テ彼等が殆ド治外法權ノ如キ有様テ跋扈シテ居ルノハ何ガタメアルカト云ヘバ、今日國庫カラ二十四圓ノ金ヲ出シテ居リマスガ、多數ノ金ハ人民カラ所謂地方稅カラ出シテ出ルノデアリマス、然ル云實此地方稅ニ付テ即チ此府ノ豫算ニ對スル責任ハ東京府知事が帶ビテ居ル、而シテ東京府會ニ於テ若シ警視廳ノ非違ヲ攻メ警視廳ノ不都合ヲ攻メントシテモ、警視總監ハ其席ヘ來テ居ルノデハナイ、僅ニ部長位ナ者ガ來テ議案ノ辯明ハスルガ、其豫算ニ對スル責任ハ東京府知事が受ケテケレバナラヌ、責任ハ受ケナクシテ自分ハ獨立ノ地位ニ居ルカラ、警視總監が權力濫用ノ弊ニ陥ル、是皆組織ガ獨立ノ官衙アルコト、及組織ノ大龍アルコトガ元アルト私ハ信ズルノデアリマス、成程此東京市ハ帝都ノ下ニアリマシテ、他ノ府縣トハ自ラ異ナル事情ガアルコトハ見テ居リマスガ、若シ警察事務ガ多イメアルト云フナラバ、ソレダケ人員ヲ殖ヤセバ宜シイ、又高等警察ノタメアルト云ヘバ、高等警察ヲ警保局テヤレバ何モナイ話テアリマス、唯東京デ異ナルノハ、ソレダケノ事ト、モウ一ツハ行幸啓ノ時ニ護衛ノコトガ他ノ府縣ヨリハ少し事務が多イ、唯ソレダケノ話テアリマス、是等ノコトハ東京府テヤラセモ何モ差支ナイノデアル、若シ東京府知事ニ適當ナ人ヲ得、東京府ノ警務長ニ適當ナ人ヲ得タラバ、等警察ノタメアルト云ヘバ、唯ホンノ形式ニ拘泥シタ話テアリマス、事實ノ上今日ノ警視廳ノ仕事位ヲヤラセルコトハ何モナイ、而モモウ少シ組織ヲ簡ニシテサウシテ事務ヲモウ少シヨリ多く運ブコトハ何モナイト信ズルノデアリマス、然ルニ外國ニモ其例ガアルト云フヤナコトヲ言ミテ、サウシテ東京ハ帝都ノ下ニ在ルノデアルカラ、特別ノ官衙ヲ置カニナルト云フコトハ明カデアル、現ニ最近ノ一例ハドウデアル、神田ノ大火ハ二月ノ二十日デアリマス、サウシテ其以後ハ連夜各所ニ放火ガアリ出火ガアシタノデアリマシテ、警視廳ノ調査ニ依レバ二十日間三十六十回ノ出火ガアシタノデアル、是ニ驚イテ警視廳

ハ漸ク此十二日ノ日カラ巡査ノ非常召集ヲ行シテ、此放火ノ取締ヲシタ、斯ノ如クヤリ方ガ緩漫デアル、大火ガアツテカラニ週間目ニ漸ク心付イテ放火ノ取締ヲスル、其間ニ六八回出火ガアツタ、一體大火ノアツタ場合ニハ既ニ一人ノ模倣性テ、火事が面白イトカ何カト云フ感シカラ頻々放火ガ行ハレル、單リ是ハ火事ノミテハナイ、慘酷ナル凶行ヤ慘酷ナル殺人罪ノアツタ時分ニハ、其事が新聞ニ現ハレルト其當分ハ非常ニ殺人ガ盛ニ行ハレル、是ハ警視廳ノ人ナドハ能ク知テ居ル皆デアリマス、一度ビ大火ガアツタアルバ直グニソレノ配備ヲシテ、サウシテ取締ヲシナケレバナラヌニ、二十日間打シヤツテ置イテ統計ヲ取シテ見テ始メテ驚イテ、ソレカラ非常召集ヲ行シテ放火犯人取締ヲスル時分ニハ、大概東京市中ハ燒ケタ後アル、下級警察ニ向シテハ斯ノ如ク不用意デアル、彼ノ不良少年ニ横行ナドモ今日ニ始マッタ話シテナイ、既ニ久シキ以前ヨリノ事柄デアルが平素ハ高等警察ニ頭ヲ奪ハレテ、多クノ高等官ガ集マクテ高等警察政治警察ニ頭ヲ奪ハレテ居ル、故ニ下級警察ノ方ガ疎カニナル、勿論不良少年ニハ特別ノ機關ガ設ケテハアルケレドモ、ソレ程ノ仕事ヲシテ居ナインデアル、斯様ナ譯アリマシテ、其他餘リ御話シヲシテハドウカ知リマセマケレドモ、今日各區ニ於テ魔窟ナルモノが非常ニ盛ニ跋扈シテ居ル、而モ能ク聞イテ見ルト、是が巡査ノ上ガリノ奴、巡査部長トカ巡査ニアツタカ云フヤウナ者ガ、皆營業ヲ致シテ居シテ、自ラ其間ニハ警察官トニ連絡ヲ保ッテ居ルト云フコトモ新聞ニ見エテ居ル、或ハサウ云フ事實ガアルダラウト思フ、又何處ノ町ヲ歩イテ見テモ合意ナド、數ガ非常ニ多イノデアリマスガ、斯ノ如キモノが今日安全ニ改良シタ事實ハナイト共ニ、何等カ事アル場合ニハ警察官が先キニ立シテ人民ニ戰ヲ挑ンデ、サウシテ人民ヲ斬ルト云フヤウナ譯デ、現ニ今回ノ騒擾ニ於キマシテモ二百何十人ト云フ人が拘引セラレ起訴セラレタノデアリマス、ソレガ皆實際罪ガアルト云ヘハ少シモ罪ハナイ、彼ノ騒擾ノ際ニ於ケル警察官ノ横暴ナドニ付テハ當時ノ各新聞ニ皆書イテアリマス、就中中央新聞ニハ最モ精審ニ書イテアリマス、或ハ全ク通り掛リノ何等關係ノナイ者ヲ拘引シタリ、或ハ通り掛リノ者ヲ全ク騒擾ニ係リ合ヒノナイ者ヲ、巡査ガ拔劍シテ切り付ケタト云フコトハ、當時ノ中央新聞ニ幾ラモ書イテアリマス、當時政友會ノ諸君ハ特ニ調查委員ヲ設ケテ之ヲ調ベテ居ル、彼ノ當時ニ於ケル彼ノ騒擾ニ於テ、警察官が如何ニ亂暴狼藉ヲ働イタカト云フコトハ茲ニ一々申上ゲル、必要ハナイト思フノデアリマス、平素ハ普通警察ニ向シテ重キヲ置カズシテ、高等警察ニ全力ヲ用ヰ、事アル時ハ直グニ人民ヲ敵ニシテ刀ヲ抜イテ戰フヤウナ警視廳ハ、餘リ音ハ歓迎シタクナインデアリマス、(簡單ト呼フ者アリ)今回モ亦當局者ニ於テハ或ハ改良ヲ加ヘルトカ、改正ヲ加ヘルトカ言ハレルカモ知レマヌカ、改良トカ改正トカ云フコトハ其人ニ依ルコトデ、而モ今日マテ既往七八年ニ何ノコトモ出來テハ居ナイ、ソレカラ又是モ大切ナコトデアルカラ一言附加ヘマスガ、事務ノ統一ヲ缺クト云フコトハ、是ハ何デアルカト言ヘバ、東京府ノ仕事ト警視廳ノ仕事ハソイデモ同シヤウナ事柄ガ多イ、是ガタメニ始終衝突紛擾ガ起ル、又紛擾が起ラヌニシテモイロクナ願書ヲ出ス時分ニ、若シ一ツナラバ一通ノ願書デモ良イノニ、警視廳ニモ出サケレバナラヌ、東京府ニモ出サケレバナラヌト云フ不便ガアリマス、尤モ是ハ二十二議會ノ結果ニ四十九年ノ四月内務省調査ヲ以テ、イロク改正ノ調査ヲ出サレテ居ルノデアリマスガ、併シ未ダ見ルベキ改正ナクシテ、同シヤウナ仕事ヲシテ居ルヤウナ感ガアルノデアリマスカラ、自カラ事務ノ統一ヲ缺クト云フコトハ自然

ノ結果デ、今日一例ヲ申シマシテモ彼ノ電車ノ如キ軌道ノコトハ警視廳ノ管轄デアルガ、車體ハ東京府ノ管轄デアルト云フヤウニ、同シツノ町ヲ通ル電車ニシテモ、斯ウ云フ不統一ガアリマス(「簡単」ト呼フ者アリ)其外ニモ斯様ナコトガ澤山アリマスカラ、事務簡捷ノ上經費節減ノ上、普通警察ノ普及ノ上カラ申シマシテモ、此警視廳ハ速ニ之ヲ廢シテ、サクシテ之ヲ東京府ニ移スコトが最モ簡便グラウト思ヒマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス——日程第二十一、鐵道建設ニ關スル建議案、提出者米田穰君

第二十一 鐵道建設ニ關スル建議案(米田穰君外三名提出)

鐵道建設ニ關スル建議案

鐵道建設ニ關スル建議案

右鐵道ハ急設ヲ要スルモノト認ム故ニ政府ハ速ニ之ヲ建設ニ著手アラムコトヲ望ム
右建議ス

右鐵道ハ急設ヲ要スルモノト認ム故ニ政府ハ速ニ之ヲ建設ニ著手アラムコトヲ望ム

右鐵道ハ急設ヲ要スルモノト認ム故ニ政府ハ速ニ之ヲ建設ニ著手アラムコトヲ望ム

○米田穰君 本案ハ極ク簡單明瞭、別段説明ノ要ハナイト思ヒマスルガ、本案ハ石川縣鹿島郡七尾港ヨリ鳳至郡穴水町ヲ經テ、輪島町ニ達スル延長線デゴザイマス、此鐵道ニ付ギマシテハ數回本院及貴族院ニ對シテ請願ヲ致シタノデアリマス、然ルニ數回共全會一致ヲ以テ御採擇ニナリ、尙政府ハ敷箇月ヲ要シテ此線路ハ十分調査ヲ終ヘテ居ルノデゴザイマス、而シテ政府ハ此線ハ最モ敷設スベキ必要ナ線デアルト云フコトニ決定ハ致シテ居ルノデアリマスガ、此ニ於テ此線ハ一日モ早ク敷設セラレンコトヲ望ム越意ノ案デゴザイマス、宜シク御贊成アランコトヲ願ヒマス(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 御異議がナケレバ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シ
題ト致シマス、提出者米田穰君
右建議ス

第二十二 戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀ニ關スル建 議案(米田穰君外二名提出)

戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀ニ關スル建議案

戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀ニ關スル建議案

○議長(大岡育造君) 本案ハ戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀致シタイト云フ趣意ノ案テゴザイマス、是ハ此案ニモ認メアリマスル通り、第一此國家ノ犠牲トナリ忠死セラレ
大ノ效果アリト認ム依リテ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ立テ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ
望ム
右建議ス

○米田穰君 本案ハ戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀致シタイト云フ趣意ノ案テゴザイマス、是ハ此案ニモ認メアリマスル通り、第一此國家ノ犠牲トナリ忠死セラレ
大ノ效果アリト認ム依リテ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ立テ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ
望ム
右建議ス

○米田穰君 本案ハ戰死者及戰病死者ヲ地方神社へ合祀致シタイト云フ趣意ノ案テゴザイマス、是ハ此案ニモ認メアリマスル通り、第一此國家ノ犠牲トナリ忠死セラレ
大ノ效果アリト認ム依リテ政府ハ速ニ適當ノ案ヲ立テ帝國議會ニ提出セラレムコトヲ
望ム
右建議ス

人々英靈ヲ各地方ノ氏神即チ其神社へ合祀致シタイト云フノデゴザイマス、サレバ此戰死者及戰病死者ノ英靈ヲ慰メ、又第一ハ遺族ニ對シテ多大ナル慰安ヲ與ヘル、又第三ニハ此氏神神社ニ合祀スレバ、鄉寧ヲ舉ゲテ神威ヲ感ゼシメ、而シテ敬神ノ念ヲ篤カラシメルト云フコトデゴザイマス、尙近來將ニ哀ヘントシテ居ルトコロノ士氣ヲ鼓舞スル上ニ於テモ、此案ハ最モ必要ノ案ナリト自分ハ信ジテ提出シタ次第アリマス、宜シク御贊成アランコトヲ希望致シマス
○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 別ニ御異議ナケレバ、本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二十三、鳥取智頭間鐵道急設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者濱本義顯君

第二十三 鳥取智頭間鐵道急設ニ關スル建議案(濱本義顯 君外一名提出)

鳥取智頭間鐵道急設ニ關スル建議案

鳥取縣下鳥取市ヨリ同縣下智頭ニ達スヘキ鐵道ハ鐵道敷設法ニ於テ第一期線ニ屬スル津山鳥取間線路中最重要ノ部分ニシテ、地方開發上其ノ必要極メテ大ナルノミナラス山陰縱貫鐵道ノ營養線トシテ亦實ニ忽諸ニ附スヘカラサルモノタリ故ニ政府ハ速ニ該鐵道建設ノ計畫ヲ立ルヲ要ス
右建議ス

(濱本義顯君登壇)

(拍手起ル)

○濱本義顯君 諸君此案ヲ提出致シマシタ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、此線路ハ既ニ第一期線ニ幾多ノ調査ヲ經マシテ編入セラレタル利益ノ線路アリマス、最モ國家ノ經濟上節チ鐵道經濟ノ上ニ於テモ、亦國防ノ上ニ於テモ、實ニ急要ナ線路アリノテアリマス、此智頭ニ於キマシテノ森林附源ト云フコトヲ簡單ニ御話シテ御参考ニ致シテ置キタイト思フ、ソレハ非常ナ森林寶庫ガアリマシテ、今日ハ彼ノ地方ヲ御承知ニナッテ居ル諸君ハ充分ニ御知リノコト、考ヘルガ、牛馬ノ脊三於テ之ヲ駒返リト云フ坂ヲ持出シテモ、一段紙ノヤウナモノトカ、生産事業ニ伴ウテ發達スルノデアリマス、又敷設費ノ如キモノモ僅カナモノデアル、是ハ暫クモ棄置カレヌ程ノ線路アリマシテ、殊ニ山陰縱貫線ノ最モ是ハ營養線ニナルノデアリマス、速ニ諸君ノ御贊成ヲ得テ、一刻モ早ク敷設サスコトニ致シタノデアリマス(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
○松田源治君 本案ハ日程第二十一鐵道建設ニ關スル建議案ト同一委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(大岡育造君) 異議ナシト認メ、依シテ松田君ノ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十四、北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者齊藤珪次君

第二十四 北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案(東武君外十
二名提出)

北海道拓殖補助機關創設ニ關スル建議案

政府ハ速ニ北海道拓殖事業補助ノ機關トシテ適當ノ方法ヲ以テ北海道拓殖會社ヲ創設セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(齊藤珪次君登壇)

(拍手起立)

○齊藤珪次君 提案ノ理由ヲ説明致シマス、極ク簡単ニ申上ゲマスルガ、今日ノ國状ニ於キマシテ、人口ノ激増ト又米價等ノ價格ノ暴騰、又農村ノ困憊ト云フコトハ皆諸君之ヲ介意セラレテ、此救濟策ニ付テハ幾多ノ法案ヲ定メラレ、又建議案ヲ出サレテ救濟策ヲ講シテ、居ラレルノゴザイマス、即チ本案モ之ニ對スルノ一策デゴザイマス、即チ北海道ニ於テ拓殖ノ補助機關タル拓殖會社ヲ、政府ニ於テ適當ノ方法ヲ以テ創立セラレタイト云フノ案テゴザイマス、極ク簡明ニ申シマスレバ、目下ノ北海道ニ於テハ土地ト資本ト農民トノ間ニ立ッテ、分配調節ノ任務ニ當ツテ居ルモノガナイノアル、彼ノ北海道ニ於ケル拓殖銀行ト云フモノガ一ツ、其任務ノ一部ヲ盡シテ居リマスケレドモ、是ハ北海道萬般ノコトナノアツテ、彼ノ北海道ノ開發ヲ目的トシテ居ル、即チ維新宏謨ノ一タル此北海道ノ開發ニ向ツテ專心貢獻スルトヨロモノデハナイ、唯一部ヲ盡シテ居ルダケアル故ニ、北海道ニ於ケル今日ノ有様ハ大地主ニシテ農民ヲ得ルコトが出來ナイ、サウシテ又農民モ意ノ如ク地所ヲ得ルコトが出來ナイ、又地所アリト雖モ此改良此整理ト云フモノヲナスコトモ出來ナイト云フ有様デアル、故ニ國家ガ此宏謨ニ基キ維新創業以來五億ニ垂ミトスル大金ヲ費シ、年所ヲ經ル四十六年ニ及ブモ未だ見ルベキノ功績ガナクシテ、其面積カラ見レバ功程五分ノ一、人口モ僅ニ百七十万ノ移民ヲ持ツテ居ルダケアル、此ノ如キコトハ決シテ北海道ソレ自身ノ開發が出來ナイノミナラズ、内地ニ於テ今日人口ノ激増、此外農村困弊、之ヲ救濟スベキ此援助ヲ爲スコトハ出來ナイノアツ、故ニ之ニ向ツテ是カラ困憊シテ居ル農村ノ人が安心シ、喜ンテサウシテ赴イテ北海道ノ天地ニ新農場ヲ作り、新聞發場ヲ作テヤルト云フコトハ實ニ北海道ノミナラズ國家ノ今日ノ最モ經濟策上ノ急務ト信ズルノゴザイマス、其方法順序等ハ委員會ニ於テ詳シク申述ベル次第ゴザイマスカラ、ドウカ御贊同ヲ願ヒタイト存シマス

○相島勘次郎君 議長

○議長(大岡育造君) 何デスカ

○相島勘次郎君 提案者ニ質問ガアリマスガ、成程北海道ノ土地ハ農場ヲ大地主ニ占領セラレテ居ルノアリマスカラ、サウ云フ機關が出來マスト、其大地主ガ拓殖會社ノヤウナモノニ土地ヲ買上ゲテ賃フト云フ便利モアツテ、大變ニ是ガ宜イ思ヒ付ト思ヒマスガ、第一ニ私ガ提案者ニ御聽キ申シタイノハ、朝鮮ニ於ケル拓殖會社ト云フモノハ、提案者ハ大變ニアレハ宜イモノト思シテ居ルノゴザイマセウカ、ソレヲチヨット伺ヒタ

○齊藤珪次君 本問題ニ別ニ直接ノ關係ガナイト思ヒマスカラ、是ガ若シ御必要ナラバ委員會ノトキニ御答シマス

○松田源治君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 松田君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、依テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程二十五、武相横斷鐵道急設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長井上篤太郎君

第二十五 武相横斷鐵道急設ニ關スル建議案(井 (委員長報告)

(井上篤太郎君登壇)

○井上篤太郎君 極メテ簡單ニ委員會ノ經過ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ本月

ノ十日及十七日ニ二回開キマシテ、慎重ニ審査ヲ致シマシタ、當局者トシマシテハ平井鐵道副總裁、木越陸軍大臣、岡陸軍次官、是ダケが出席サレマシタ、鐵道院側ノ意見トシマシテハ別ニ反對ハシナイカ、サリナカラ一年一年ノ間ニ之が出來得ルモノニアルカト云フコトハ分ラナイ、斯ウ云フ意味ノコトヲ漏シテ居ラレマシタ、陸軍側ノ答ト致シマシテハ、本鐵道ハ軍事上戰時及平時共ニ必要ナ線アルカラ、大ニ賛成スルト云フコトヲ言明サレマシタ、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス、私ハ此提案者ノ一人ト致シマシテ満場一致ヲ以テ此案が可決サレシコトヲ切ニ希望致シマス(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○松田源治君 本案ハ滿場一致ヲ以テ可決確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 〔賛成〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) 別ニ反對モナイヤウニ認メマス

〔反對〕ト呼フ者アリ

○議長(大岡育造君) アリマスカ

○議長(大岡育造君) 本案ハ松田君動議ノ如ク多數ヲ以テ可決シタルコトヲ宣告致シマス、日程第二十六、農家の副業ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——森茂生君

○議長(大岡育造君) 登壇ヲ望ミマス

第二十六 農家の副業ニ關スル建議案(井上角五 (委員長報告)

(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○早速整爾君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、此建議案ノ趣旨トスルト

コロハ、理由書中ニ最モ委シク掲ケゴザイマスル、又過日當議場ニ於キマシテ提出者ヨリ委シク御説明ニ相成リマシタル通リテ、要スルニ農家經濟ヲ助クル爲メニ農村ノ疲弊ヲ救治スルタメニ、此農家ノ副業ヲ獎勵スルト云フコトハ今日ノ急務アルカラ、政府ハ

五件、ソレカラ法律案又ハ請願委員會議決ノ結果ニ依テ、其議決ヲ要シタモノガ二件、未了ノモノガマダ百十八件アリマシテ、本日ノ院議ニ付サレマシタモノハ十六件、斯様デアリマス、本日ノ日程ニ上シテ居リマスル中ニ於テ姫路城ノ保存ノ件ニ付キマシテハ、分科會ニ於キマシテ政府委員ノ意見等モ徵シマシテ之ヲ決定致シタ次第ニアリマス、此段御報告致シマス

〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 日程第二十八乃至四十二ノ請願ハ、委員長報告通り可決シタルコトヲ宣告スルニ御異議ガアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○議長(大岡育造君) 可決シタルコトヲ宣告致シマス

(左ノ特別報告(請願)ハ朝讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス)

第二十八 特別報告第十九號

第七十八號

借地權救濟ノ請願 東京市本所區龜澤町二丁目三番地辯護士磯部四郎

外百八十五名呈出(紹介議員松田源治君)

右請願ノ要旨ハ明治四十一年法律第四十號ヲ以テ建物保護ニ關スル法律制定發布セラレタレトモ未タ其ノ保護ニ充分ナル能ハス地主ハ借地人ヨリ取上ケアル短期契約ノ證文ヲ楯ニ執リ借地人ニ脅迫的明渡ヲ迫リ理不盡ナル勝手ノ值上ヲ強行スルノ弊習ヲ助長セリ爲ニ紛議續出シテ底止スル處ヲ知ラス其ノ判決又時ト人トニ因リ揆一ナラス從テ借地人ハ頗ル不安ノ狀況ニ在リ當局モ亦之ヲ認メテ昨年司法省ニ於テ借地救濟ニ關スル一案ヲ起草シ法律取調委員會ニ附シレタレトモ未タ成案ヲ見ルニ至ラス依テ一日モ遠三之ガ根本ノ救濟解決ヲ圖ラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第二十九 特別報告第二十號

第八十二號

平戸區裁判所今福出張所設置ノ請願 長崎縣北松浦郡今福村長豐村重

郎外一名呈出(紹介議員中倉万次郎君)

右請願ノ要旨ハ長崎縣北松浦郡志佐村外七箇村ハ平戸區裁判所志佐出張所ノ管轄ニ屬スルモ其ノ區域廣キニ過キ登記件數多キ爲申請者ノ不便少カラス而シテ今福村、福島村、鷹島村ハ志佐出張所トノ距離近キモ二里遠キハ五里餘ヲ距テ、福島鷹島兩村ノ如キハ四里餘ヲ隔テタル孤島ニシテ、志佐村ハ海淺ク風波ノ時ハ繫船上陸シ能ハス調川村ハ志佐今福兩村ニ境ヲ接スルモ今福村トノ取引交通頻繁ナリ依テ今福、福島、鷹島、調川ノ四箇村ヲ管轄區域トシテ今福村ニ登記所ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十 特別報告第二十一號

第七十號

零石村郵便局電信電話架設ノ請願 嶺手縣嶺手郡零石村長生田錄造外

七名呈出(紹介議員鈴木巖君)

右請願ノ要旨ハ本請願人等ノ地方ハ盛岡市ヲ距ルコト僅ニ三里戸數千七百アリ

農產及牧畜ノ發達亦著シテ而モ益之カ發展ヲ企圖スルモ其ノ須要ノ利器タル電信電話ノ開始未タ無シ是レ頗ル遺憾トスルトロナリ依テ速ニ嶺手縣零石村零石郵便局ニ電信電話ヲ開始セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十一 特別報告第二十二號

木田村郵便局設置ノ請願 嶺手縣那賀郡木田村長佐々岡延藏呈出(紹介議員島田俊雄君)

右請願ノ要旨ハ島根縣那賀郡木田村ハ直接國稅納附額ノ多大ナル全郡ノ各村ニ優レ郵便物ノ集散比較的饒多ナルニ拘ラス其ノ管轄郵便局タル今市局ト邑智郡市山局、日貴局、那賀郡跡市局トハ直接遞送ノ便ナク迂回スルカ爲常ニ遲延ヲ免レス其ノ不便甚シ依テ木田村ニ一局ヲ新設シ各間直送ノ取次ヲ爲サシメラレシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十二 特別報告第二十三號

第七十一號

國府津沼津間廣軌鐵道改設ノ請願 静岡縣駿東郡小山田町長湯山壽介

外三十一名呈出(紹介議員清室太郎君外一名)

右請願ノ要旨ハ熱海迂回線竣工ノ後ハ該線ヲ經由スル新橋下關間鐵道幹線ハ廣軌ニ改設セラレヘキモノ本線タリシ國府津沼津間ハ獨リ舊來ノ狹軌ノ儘ニ存置セラルヘシト傳聞ス然ルニ此ノ國府津沼津間ノ沿線ハ富士紡績ノ大工場ヲ有シ御殿場裾野ノ大演習地ヲ扣ヘ富士箱根ノ秀麗アリ大雄山最乘寺、大山阿弗利神社アリ諸温泉古跡ニ赴クノ要路旅客ノ往來頻繁ナルアリ加フルニ水力ニ富ムカ故ニ將來發電所ノ設計電氣工業ノ經營各所ニ勃興セムトスアリ關係各驛ノ出入貨物亦頗ル巨額ニシテ運輸ノ施設益完全ヲ要シ各驛ノ規模愈擴張ニ急ナラムトス而シテ熱海迂回線竣工ノ後右國府津沼津間若支線ト變シ運輸列車ノ回數甚タ減少セラルルカ如キコトアラハ其ノ影響頗ル大ナリ依テ新橋下關間全部廣軌ニ改設セラル際ハ同時ニ國府津沼津間モ廣軌ニ改設セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十三 特別報告第二十五號

第七十六號

四國幹線鐵道既設線延長ノ請願 德島縣三好郡山城谷村六百九十二番

屋敷大野協外九十名呈出(紹介議員大久保弁太郎君)

右請願ノ要旨ハ德島高知間ノ幹線鐵道ハ川田池田間ハ本年將ニ其ノ運轉ヲ開始セラレムトシ續チ池田高知間ノ線路モ敷設セラレシト現時財政緊縮ノ折柄若事業繰延ノ爲終點池田ニ留マルカ如キコトアラハ四縣交通ノ連絡完カラスシテ遺憾ナキ能ハス然レトモ之ヲ僅々七哩ノ山城谷村川口迄延長セハ南ハ十佐國ニ

接シ西ハ伊豫國ニ連リ北ハ近ク讃岐ニ瓦リ四國四縣ノ中央ニ位シテ物貨集散ノ要地ヲ占メ一般公衆ノ便益タルハ固ヨリ殖産興業國利増進妙少ナラサルヘシ依テ四國幹線鐵道既設線ヲ川口マテ延長セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十四 特別報告第一十六號

第七十七號

石狩川右岸鐵道敷設ノ請願 石狩國樺戸郡月形村農業石狩川右岸鐵道
八ヶ町村聯合會長海賀直常外一名呈出(紹介議員東武君)
右請願ノ要旨ハ北海道兩龍郡沼田驛ヨリ幹線ト分岐シテ石狩郡石狩町ニ出テ折シテ錢函壁三於テ幹線ニ合スル鐵道ハ本道ノ寶庫ト稱セラル石狩川北岸一帶ノ肥沃地ヲ縱貫スルモノニシテ沿線ニ豐富ナル大炭脈ト大森林ト有シ土地亦平坦ニシテ農耕ニ適スルニモ拘ラス交通機關ノ恩澤ヲ得ルヲ得ス未開荒蕪ノ儘ニ放棄セラルノ状態ニ在リ依テ速ニ該鐵道ヲ敷設セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十五 特別報告第二十七號

第八十號

辰野驛足助間竝飯田町三留野間鐵道第一期線編入ノ請願 長野縣下
伊那郡大島村長中島鐵一郎外三十七名呈出(紹介議員伊藤大八君)

右請願ノ要旨ハ長野縣上下伊那兩郡ハ土壤膏腴物產豐饒ニシテ就中蠶繭生絲ノ產出額全國ノ首位ヲ占メ林產農產物等主要ノ產物妙カラス然レトモ其ノ發達進歩遲々トシテ他ニ伴ハス是レ主トシテ運輸交通機關ノ不備不便ノ致ス處ニシテ該交通機關ノ設備ニ直接ニ關係アル地方財源開發ノ爲ニ獨リ急切且必要ナルノミナラス幹線ナル中央線ノ培養上ニモ最緊要ナリト信ス依テ上伊那郡辰野驛ヨリ下伊那郡飯田町ヲ經テ愛知縣足助ニ至ル鐵道及下伊那郡飯田町附近ヨリ分岐シ西筑摩郡三留野驛ニ通スル鐵道ノ速成アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十六 特別報告第二十八號

第八十五號

川邊能代間鐵道敷設速成ノ請願 青森縣西津輕郡深浦村長島川一覺外

十五名呈出(紹介議員長崎登君外一名)
右請願ノ要旨ハ青森縣下西北兩郡カ文化ニ退レ產業退歩ノ奇現象ヲ示セルハ畢竟交通運輸機關ノ不備ニ因ルモノトセサルヘカラス然ルニ鐵道院ハ昨春來奧羽線ノ支線トシテ川邊黑石間ノ鐵道ヲ完成シ更ニ川邊ヨリ藤崎板柳ヲ輕五所川原木造ヲ經由シ竣工渾、深浦、岩崎ヲ經テ秋田縣能代ニ至ル一線ヲ假設シテ豫定線ト爲シ付候也

第三十七 特別報告第二十九號

第三十八 特別報告第三十號

第六十四號

岩木川改修ノ請願 青森縣北津輕郡七和村大字羽野木澤七番戸平民北
津輕郡會議長阿部武智雄外二十六名呈出(紹介議員津島源右衛門君
外一名)

右請願ノ要旨ハ青森縣岩木川ハ水田灌漑段別約三萬町歩ニ渡ル大川ナルカ近時災害相次キ頻ニ之カ方策ヲ講スルモ地方ノ資力ハ到底之ヲ防止スルニ足ラス幾度カ慘害ヲ被レリ政府當局者亦深ク省察セラル所アリ孜々調査ニ從事シ其ノ終結近キニ在ルヘシト聞ク依テ一日モ早ク相當ノ措置ヲ下サレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第三十九 特別報告第三十一號

第五十二號

松前鐵道敷設ノ請願 北海道渡島國松前郡福山町字松城町三十八番地
士族公吏金田彌太郎外四百十四名呈出(紹介議員内山吉太郎君外四
名)

右請願ノ要旨ハ松前鐵道ノ速成ハ農耕、牧畜、養蠶ノ適地タル上磯、松前兩郡ノ利源開發ニ緊要ナルノミナラス同鐵道ノ開通ハ内地ト本道トノ連絡ヲ短縮シ拓殖政策上閉却スヘカラサルモノニシテ殊ニ津輕海峡カ國防上重大ナル關係ヲ有スル點ヨリ觀ルモ又同海峽カ將來世界的航路ノ中心タルヘキ運命ヲ有スル點ヨリ觀察スルモ同鐵道ノ速成ハ頗ル重大ナル意味ヲ有スルモノナリト信ス依リテ渡島國函館區ヨ

リ上磯郡ヲ經ア同國松前郡福山町ニ至ル松前鐵道ヲ速ニ敷設セラレタシト謂フニ
在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ 依ア議院
法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十 特別報告第三十二號

第五十三號

八雲瀬棚間鐵道敷設速成ノ請願 北海道山越郡八雲村大字八雲村字砂

蘭部六番地士族公吏木村定五郎外三十三名呈出（紹介議員内山吉太
君外四名）

右請願ノ要旨ハ北海道山越郡八雲村ハ函樽鐵道ニ沿フ 面積三十七方里人口三千ノ一大殖民部落ナルカ地味膏腴氣候溫順加フニ山間一帶林產物ニ富ミ鑛產物亦無盡藏ナリ又翻テ瀬棚郡及其ノ隣接セル太櫓郡ニ於ケル 面積百十方里餘ノ地ヲ觀ルニ地味ノ肥沃ナルハ八雲村ト其ノ趣旨ヲ同フシ林產ノ豐富ナル鑛產物ノ有望ナル等富源ノ宏大ナルコト本道中稀ニ見ル所タリ然ルニ兩郡ト八雲村トノ間にハ假定縣道アリト雖路幅狹隘ニシテ車馬ノ交通因難ヲ極メ爲ニ幾多ノ富源モ空シク遺棄セラルノ状態ニ在リ依リテ速ニ八雲瀬棚間ニ鐵道ノ敷設アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ 依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十一 特別報告第三十三號

第五十五號

盛岡大館間鐵道敷設速成ノ請願 秋田縣北秋田郡大館町東大館七百十

八番地平民農竹村定直外千百八十名呈出（紹介議員町田忠治君外四
名）

右請願ノ要旨ハ秋田縣下大館ヨリ扇田、十二所、花輪、湯瀬ヲ經テ巖手縣下盛岡ニ至ル鐵道ハ政府調査ノ豫定線ニシテ僅々六十三哩工費約一千萬圓ヲ出テ斯而シテ小坂、尾去澤、不老倉鑛山ノ如キ皆本線路ノ經過スル處ニシテ其ノ他尙探掘セラルヘキ鑛山百餘ノ多キニ達シ帝國三大美林ノータル長木澤ノ國有林ノ如キモ該線路ニ近接シ其ノ敷設ハ富源ノ開發上並軍事上重大ナル關係ヲ有ス況ヤ大館驛ハ貨物ノ取扱秋田ノ二倍半弘前ノ約二倍ニ當ルニ於テオヤ依リテ速ニ本鐵道ノ敷設アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ 依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十二 特別報告第三十四號

第二十九號

金目村郵便電信局設置ノ請願 東京市赤坂區青山北町三丁目五番地士

族商中村枝幸呈出（紹介議員西谷金藏君）

右請願ノ要旨ハ金目村ハ伊勢原局ヲ距ツルコト約一里半秦野局ヲ距ツルコト約二里平塚局ヲ距ツルコト約一里半大磯局ヲ距ツルコト約二里半餘ノ中央ニ位シ中學程度ノ學校等アリ交通権要ノ地位ナルニ單ニ爲換取扱局アルノミニシテ一般ノ不便妙少ナラス依テ本村ニ配達郵便局及電信局ノ新設アリタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ

趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ 依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

第四十三 特別報告第三十五號

第三十號

五千石村二等郵便局設置ノ請願 鳥取縣西伯郡五千石村大字誠訪村二

百十番地村會議員湯原定壽郎君外二名呈出（紹介議員西谷金藏君）

右請願ノ要旨ハ五千石村、幡鄉、大幡、尚德、四箇村ハ信書ノ來往繁ク郵便局ノ必要ヲ感スルコト甚シ現ニ米子局ヨリ集配ヲ爲スト雖其ノ距離一里餘ニシテ毎日一同ノ集配ヲ受クルノミ依テ五千石村ニ三等郵便局ヲ設置セラレタシト謂フニ在リテ衆議院ハ其ノ趣旨ヲ至當ナリト認メ之ヲ採擇スヘキモノト議決セリ 依テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及御送付候也

○議長（大岡育造君） 報告ガアリマス

（書記朗讀）

一議員ヨリ提出サレタル議案左ノ如シ

樺太漁業制度改正ニ關スル建議案

提出者 木下 成太郎君

松城 兵作君

太田 直次君

丸尾 光春君

教員檢定委員會ニ關スル建議案

提出者 柏原 文太郎君

田中 善立君

野岩羽鐵道線建設ニ關スル建議案

提出者 日下 義雄君

井深 彦三郎君

堀切 善兵衛君

復古功臣前功表彰ニ關スル建議案

提出者 武富 時敏君

柚木 慶二君

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

政府ト地方自治體トノ關係其他ニ關スル質問

提出者 石橋 爲之助君

一常任委員辭任ノ申出アリタル議員左ノ如シ

第五部選出決算委員

○議長（大岡育造君） 唯今報告シタル中、委員ノ辭任ハ之ヲ許可スルニ御異議ハア

（異議ナシ異議ナシノ聲起ル）

リマセヌカ

告致シマス、今日ハ是ニテ散會

午後三時三十分散會

正誤

衆議院議事速記録第一號中一七八頁上段二十四行大養毅君ノ前ニ「本案ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ」ヲ行ヲ脱ス（誤植）